

①安全・快適のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策 項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実	内	容	実	内	容	主担当課	評価結果 (部会委員5名)				
				令和4年度			令和5年度				A	B	C	D	E
基本目標1 ずっと暮らせる安全・快適なまち															
1. 防災・消防															
	(1)防災体制の充実	1	紀北町地域防災計画の適宜見直し	年度当初には職員対応マニュアルの見直し。令和5年2月に防災会議を開催し、地域防災計画の一部改訂を実施。			年度当初に職員対応マニュアルの見直し行い、令和6年2月に防災会議を開催し、地域防災計画の一部改訂を実施している。			危機管理課	1	1	3	0	0
		2	災害時の情報伝達体制の強化	県主催の災害時情報伝達訓練等により、情報伝達機器の操作の仕方を含め実施済み			県主催の災害時情報伝達訓練等により、情報伝達機器の操作の仕方を含め実施済みです。			危機管理課	1	2	2	0	0
		3	避難場所及び避難路等の整備・管理	新規避難場所や避難路のの設置は実施していないが、適切な維持に努めている。			新規避難場所や避難路の設置は実施していないが、適切な維持、管理に努めている。			危機管理課	0	3	1	1	0
		4	避難所の整備や運営体制の強化	資機材拡充を含め適切な避難所整備運営に資する整備を実施している。			資機材拡充を含め適切な避難所整備運営に資する整備を実施している。			危機管理課	1	2	2	0	0
		5	災害発生時の業務継続体制の整備	災害時業務BCPを策定し、適切な体制整備に努めている。			災害時業務BCPを策定し、適切な体制整備に努めている。			危機管理課	1	2	2	0	0
		6	孤立する可能性のある集落への支援強化	紀北町防災行政無線戸別受信機の整備・アンサーバック機能の点検、孤立集落防災訓練(土嚢作成、土嚢積み)の実施。			紀北町防災行政無線個別受信機の整備・アンサーバック機能の点検・孤立集落防災訓練(土嚢作成・土嚢積み)の実施をしている。			危機管理課	1	2	2	0	0
		7	備蓄倉庫の整備	新規倉庫の設置は実施していないが、適切な維持に努めている。			新規倉庫の設置は実施していないが、適切な維持、管理に努めている。			危機管理課	1	2	2	0	0
		8	食料・飲料水・備蓄品等の確保	期限切れの備蓄品の処分及び不足分の購入により、備蓄品の確保に努めた。			期限切れの備蓄品の処分及び不足分の購入により、備蓄品の確保に努めた。			危機管理課	1	2	1	1	0
		9	早期復旧・復興体制の整備	紀北PA地域振興施設「始神テラス」を大規模災害時の広域応援拠点として活用するとともに、防災倉庫に非常用備蓄品等を配備。			紀北PA地域振興施設「始神テラス」を大規模災害時の広域応援拠点として活用するとともに、防災倉庫に非常備蓄品等を配備している。			危機管理課	1	3	1	0	0
		10	全国瞬時警報システム(Jアラート)等による情報伝達体制の充実	年数回の全国瞬時警報システムの伝達訓練を実施により、動作確認を含めた訓練を実施している			年数回の全国瞬時警報システムの伝達訓練の実施により、動作確認を含めた訓練を実施している。			危機管理課	2	0	3	0	0
	(2)地域防災力の強化	1	自主防災組織の活動支援	日常的な各地区の自主防災活動の実施とともに、自治会と共催で防災講演会を実施した。			日常的な各地区の自主防災会活動の実施とともに、自治会と共催で防災講演会を実施した。			危機管理課	1	2	1	1	0
		2	防災訓練、防災講演会・講習会の実施	各団体や福祉施設等において防災講話、広報きほくや行政放送番組により防災・災害に対する情報を啓発。			各団体や福祉施設等において防災講話、広報きほくや行政放送番組により防災・災害に対する情報を啓発している。			危機管理課	0	3	2	0	0
		3	防災教育の実施	(危機管理課) 西小学校において防災教育を実施(R4年度に2回)、防災研修(尾鷲市障がい者支援施設「結」) (福祉保健課) 各保育園において、年1回以上、防災訓練を実施。			(危機管理課) 西小学校において防災教育を実施 (福祉保健課) 各保育園において、年1回以上、防災訓練を実施。 偶数月の最終火曜日に、防災担当職員と保健師による「災害準備定例会」で研修を実施している。			危機管理課 福祉保健課 学校教育課	1	2	2	0	0
		4	防災リーダーの育成	自主防災会に自主防災会を対象としたリーダー研修会の開催を周知している。また、講演会を通じた地区での防災活動の充実の礎としていただいた。			自主防災会に自主防災会を対象としたリーダー研修会の開催を周知している。			危機管理課	1	2	1	1	0
		5	各種ハザードマップ等の見直し・作成と周知	R4年度に、洪水ハザードマップを更新し、全戸配布を実施。			R4年度に洪水ハザードマップを更新し、全戸配布を実施済(R5年4月)			危機管理課	1	2	2	0	0
		6	避難行動要支援者の避難支援体制の強化	福祉保健課で作成の災害時要援護者名簿の活用及び、個別支援計画の作成について、福祉保健課と今後の推進について協議を実施した。			福祉保健課で作成の災害時要援護者名簿の活用及び個別支援計画の作成について、福祉保健課と今後の進め方について協議を実施している。			危機管理課	0	3	2	0	0
	(3)常備消防・救急体制の充実	1	消防車・救急車等車両・資機材の整備	多種多様の災害にも対応できる、近代装備を備えた消防資機材の整備を行っている。火災・救急・救助訓練など、各種現場で迅速かつ的確に活動できるよう、定期的に消防署員の強化訓練を行った。また、自主訓練も積極的にを行っている。消防施設の整備にあっても機械器具等に不具合が出ないよう、定期的に点検を行っている。			多種多様の災害にも対応できる、近代装備を備えた消防資機材の整備を行っている。火災・救急・救助訓練など、各種現場で迅速かつ的確に活動できるよう、定期的に消防署員の強化訓練を行った。また、自主訓練も積極的にを行っている。消防施設の整備にあっても機械器具等に不具合が出ないよう、定期的に点検を行っている。			危機管理課	2	2	1	0	0
		2	ドクターヘリポートの増設	新たなヘリポート候補地について紀北消防組合と検討をおこなった。			新たなヘリポート候補地について紀北消防組合と検討を行った。			危機管理課	0	3	2	0	0
	(4)消防団の活性化	1	消防団員の確保	広報活動・各種研修を実施し、消防団員の確保と組織の強化を図った。			広報活動・各種研修を実施し、消防団員の確保と組織の強化を図った。			危機管理課	0	3	1	1	0
		2	消防団詰所の整備	補修箇所があれば、随時補修を行い、適切な維持に努めている。			補修箇所があれば、随時補修を行い適切な維持、管理に努めている。			危機管理課	1	2	2	0	0
		3	消防団資機材の整備・充実	定期的に訓練・会議を行い消防団員の資質の向上を図ったと共に、資機材の整備にあっても積極的に実施した。			定期的に訓練・会議を行い消防団員の資質の向上を図るとともに、資機材の整備にあっても積極的に実施した。			危機管理課	1	3	1	0	0
		4	消防団と自主防災組織との合同訓練の実施	広報活動・各種研修を実施し、消防団員の確保と組織の強化を図った。			広報活動・各種研修を実施し、消防団員の確保と組織の強化を図った。			危機管理課	0	3	2	0	0

①安全・快適のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策 項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容	実 施 内 容	主担当課	評価結果 (部会委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
		5	女性消防団の増員・強化	救急講習・火災予防活動・各種訓練へ積極的に参加していただき、女性消防団の育成強化(町内避難施設の再確認等)を行った。	救急講習・火災予防活動・各種訓練へ積極的に参加していただき、女性消防団の育成強化(町内避難施設の再確認等)を行った。	危機管理課	1	1	3	0	0
		6	防火水槽や消火栓等の消防水利の整備	必要箇所には消火栓を設置し、消防水利の確保を図っている。	必要箇所には消火栓を設置し、消防水利の確保を図っている。	危機管理課	0	3	2	0	0
	(5)消火・救急救命に関する知識の普及	1	火災予防意識の啓発活動	年2回、火災予防の啓発パトロールを実施した。	年2回、火災予防の啓発パトロールを実施した。	危機管理課	1	1	3	0	0
		2	事業者等への防火管理指導	年に数回、消防団を中心に事業所を対象とした防火管理指導を実施している。	年に数回、消防団を中心に事業所を対象とした防火管理指導を実施している。	危機管理課	1	1	3	0	0
		3	救急応急処置講習会の開催	女性団員を中心に、町内の小中学校等への応急救護指導を実施している。	女性団員を中心に、町内の小中学校等への応急救護指導を実施している。	危機管理課	1	3	1	0	0
		4	バイスタンダーの養成	女性団員を中心に、応急救護指導の技能習得を実施し、町内各所へ派遣している。	女性団員を中心に、応急救護指導の技能習得を実施し、町内各所へ派遣している。	危機管理課	1	3	1	0	0
		5	AEDの整備と周知	町内各所にAEDを配備し、消耗材の随時の取替を実施している。配備箇所についての周知も行っている。	町内各所にAEDを配置し、消耗品の随時取替を実施している。配備箇所についての周知も行っている。	危機管理課	1	3	1	0	0
	(6)治山・治水対策、雨水排水対策等の促進	1	河川改修や河口閉塞防止、急傾斜地の崩壊防止対策の促進	[県]山居3地区急傾斜地崩壊対策事業	[県]山居3地区急傾斜地崩壊対策事業	建設課	1	1	3	0	0
		2	防潮堤・樋門・防潮扉の改修整備	[県]二級河川片上川水門耐震対策(岩本樋門)	[県]船津川(江崎1号陸閘)更新工事 片上川(岩本樋門)修繕工事	建設課	1	1	3	0	0
		3	雨水排水対策の促進(各排水機場の改修等)	(危機管理課) 汐ノ津呂排水機場の新設に向けた詳細設計業務を実施した。 (建設課) 排水路整備事業として田山区排水路堆積土砂撤去工事他25件を実施 (農林水産課 農政係) ・県単排水施設整備事業を活用し、排水機場の適切な維持補修を実施した。【出垣内排水機場】	(危機管理課) 汐ノ津呂排水機場整備工事(その1)を実施した (農林水産課農政係) ・県単排水施設整備事業を活用し、排水機場の適切な維持補修を実施した。【相賀排水機場・山本排水機場】	危機管理課 建設課 農林水産課	2	2	1	0	0
2. 交通安全・防犯・消費生活											
	(1)交通安全対策の推進	1	地域・職場における交通安全意識の啓発	四季の交通安全運動を通じた取り組み及び広報きほく、行政放送、啓発活動等を実施し、交通安全意識の高揚を行った。	四季の交通安全運動を通じた取り組み及び広報きほく、行政放送、啓発活動等を実施し、交通安全意識の高揚を行っている。	危機管理課	1	2	2	0	0
		2	交通安全教室の実施	新型コロナウイルス感染症が拡大している状況により、シルバーフェスタの開催等や児童・生徒に作成して頂く交通安全ポスター表彰式の式典は中止となりましたが、高齢者を含む町民に対し広報きほくを通じ、交通安全啓発チラシの配布や児童・生徒に対し啓発物品の配布を実施し、また、交通安全協会・交通安全指導員・交通ママの会による早朝街頭指導は実施し、意識の向上を図った。	交通安全ポスター表彰式及び交通安全パレードを実施した。	危機管理課	0	3	2	0	0
		3	危険箇所の把握と交通安全施設の整備	交通安全対策事業として町道相賀小浦線防護柵設置工事を実施 また、小修繕として相賀地区区画線修繕工事他6件を実施	交通安全対策事業として、海山区・紀伊長島地区区画線設置工事を実施 また、小修繕として船津地区カーブミラー設置工事他3件を実施	建設課	1	3	1	0	0
	(2)防犯対策の推進	1	防犯に関する広報・啓発活動や情報提供	警察や防犯協会等関係機関と連携のもと、防犯啓発活動及び園児を対象とした防犯啓発物品の配布、行政放送を実施し、意識の向上を図った。	警察や防犯協会等関係機関と連携のもと、防犯啓発活動及び園児を対象とした防犯啓発物品の配布、行政放送を実施し、意識の向上を図った。	危機管理課	1	2	2	0	0
		2	地域での防犯活動体制の強化	当地域は犯罪の発生率が低い状況であり、自主的な防犯活動組織はほとんどない状況。夜間の見回りボランティア等の啓発をしていく。 ※上里地区で下校時の子どもの見守り組織(H18発足)有り。	当地域は犯罪の発生率が低い状況であり、自主的な防犯活動組織はほとんどない状況で、夜間の見回りボランティア等の啓発を行っていく。 ※上里地区で下校時の子どもの見守り組織あり(H18年発足)	危機管理課	1	2	2	0	0
		3	防犯協会の加入促進	防犯協会加入に向けての取り組みは継続している。R4年度新規加入2名の実績。	防犯協会加入に向けての取り組みは継続している。	危機管理課	0	2	3	0	0
		4	暴力団排除条例に基づく対策の推進	民事介入暴力巡回無料法律相談の実施や尾鷲警察署内での暴力相談専用電話での対応を行った。	民事介入暴力巡回無料法律相談の実施や尾鷲警察署内での暴力相談専用電話での対応を行った。	危機管理課	1	1	3	0	0
	(3)安全な消費生活の確保	1	消費生活に関する啓発の実施	・消費生活に関する相談窓口の開設 R4相談件数31件 ・消費者教育 消費者被害防止啓発リーフレット配布 8,000部	・消費生活に関する相談窓口の開設 R5相談件数28件 ・消費者教育 消費者被害防止啓発リーフレット配布 8,000部	商工観光課	1	1	3	0	0
		2	消費生活相談体制の強化	・消費生活に関する相談体制 2名 ・弁護士法人片山総合法律事務所と「消費者トラブルによる法律相談等に関する協定書」を締結	・消費生活に関する相談体制 2名 ・弁護士法人片山総合法律事務所と「消費者トラブルによる法律相談等に関する協定書」を締結	商工観光課	1	1	3	0	0
3. 土地利用											
	(1)適正な土地利用の推進	1	土地利用関連計画や関連法、条例等についての周知	国土利用法等のポスター掲示や、チラシなどによる周知を実施している。	国土利用法等のポスター掲示や、チラシなどによる周知を実施している。	企画課	1	1	2	1	0

①安全・快適のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策 項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容	実 施 内 容	主担当課	評価結果 (部会委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
		2	無秩序な開発行為の未然防止や土地利用区分に応じた適正な土地利用の推進	一定の面積要件を満たす土地取引について、土地売買等届出書をもとに内容の確認を行なっている。	一定の面積要件を満たす土地取引について、土地売買等届出書をもとに内容の確認を行なっている。	企画課	1	1	3	0	0
	(2)地籍調査の推進	1	地籍調査の推進	本地9地区0.06km ² (60,000m ²)閲覧業務	相賀7・8地区過年度成果修正業務	建設課	0	1	4	0	0
4. 道路・交通・港湾											
	(1)国道・県道の整備促進	1	高規格幹線道路の整備促進	紀勢自動車道建設促進三重県期成同盟による要望活動を行った	紀勢自動車道建設促進三重県期成同盟による要望活動を行った	建設課	2	0	3	0	0
		2	国道42号の付加車線・右折レーン・歩道・防護柵などの整備促進	[国]国道42号横断歩道橋修繕(戸ノ須) [国]国道42号落石雪害防止柵整備(鷺毛)	[国]国道42号法面防災工事(荷坂峠)	建設課	1	1	3	0	0
		3	国道422号の整備促進	[県]国道422号(大原・河合)道路改良事業	[県]国道422号(大原・河合・下地)道路改良事業	建設課	1	1	3	0	0
		4	国道260号の全線整備の促進	国道260号道路改良促進期成同盟による要望活動を行った	国道260号道路改良促進期成同盟会による要望活動を行った	建設課	2	0	3	0	0
		5	県道の整備促進	県道長島港線の改良要望活動を行った	[県]県道長島港線の改良事業	建設課	2	0	3	0	0
	(2)町道の整備	1	町道の整備・改良	道路改良事業として町道戸ノ須2号線道路整備工事他7件を実施 道路改良事業(舗装)町道入江西町線道路舗装工事他4件を実施	道路改良事業として町道中里15号線道路整備工事他11件を実施 道路改良事業(舗装)町道小山里ノ内線道路舗装工事他6件を実施	建設課	1	1	3	0	0
		2	橋りょうの耐震化	耐震修繕設計:N=8橋 (戸ノ須橋、井の島、山本2号橋、戸ノ須1号橋、松原橋、赤羽1号橋、原橋、橋本橋、入江西町1号橋) 耐震修繕工事:N=4橋 (赤岩橋、井の島山本2号橋、戸ノ須橋、戸ノ須1号橋)	耐震修繕設計:N=2橋 (ソウノ木橋、道瀬3号橋) 耐震修繕工事:N=3橋 (瀬頭橋、松原橋、原橋)	建設課	1	1	3	0	0
		3	道路施設の長寿命化	道路維持補修事業として町道赤羽大内山線側溝蓋修繕工事他47件を実施	道路維持補修事業として町道渡利引本線道路舗装工事他63件を実施	建設課	1	1	3	0	0
		4	歩道の改良・バリアフリー化	上記工事に含む	上記工事に含む	建設課	1	2	2	0	0
	(3)公共交通の利便性向上	1	交通空白地域の解消	令和2年8月のおでかけ応援サービス「えがお」のサービス開始により交通空白地域は解消された。公共交通の利便性向上に向けた検討を今後も継続する。	令和2年8月のおでかけ応援サービス「えがお」のサービス開始により交通空白地域は解消された。公共交通の利便性向上に向けた検討を今後も継続する。	企画課	1	3	1	0	0
		2	鉄道の利便性向上と利用の促進	東紀州地域5市町で組織する南紀・東紀州交通対策委員会において、毎年3回程度、名古屋と東京で鉄道等の利用促進を行っている。 また、三重県鉄道網整備促進期成同盟会においては、地域住民の利便と地域産業の振興に一層寄与することを目標に会員が連携している	東紀州地域5市町で組織する南紀・東紀州交通対策委員会において、毎年3回程度、名古屋と東京で鉄道等の利用促進を行っている。 また、三重県鉄道網整備促進期成同盟会においては、地域住民の利便と地域産業の振興に一層寄与することを目標に会員が連携している	企画課	2	0	3	0	0
		3	バス路線の維持	「尾鷲長島線」、「島勝線」の運行補助及び廃止代替バス「河合線」の運行を行っているが、コロナ禍であり利用者が減少している。広報きほくへバス利用促進記事の掲載及びCATV「ふるさと紀北町」内行政情報でのバス利用促進を行った。 平成30年度より、バス路線の利用促進として尾鷲高校へのバス通学定期補助を開始しており、令和4年度は11名の利用があった。	「尾鷲長島線」、「島勝線」の運行補助及び廃止代替バス「河合線」、「いこかバス」の運行を行っているが、コロナ禍であり利用者が減少している。広報きほくへバス利用促進記事の掲載及びCATV「ふるさと紀北町」内行政情報でのバス利用促進を行った。 平成30年度より、バス路線の利用促進として尾鷲高校へのバス通学定期補助を開始しており、令和5年度は22名の利用があった。	企画課	1	3	0	1	0
		4	効果的なスクールバス等の運行確保	遠距離通学している生徒の通学手段をスクールバスの運行により、適切に確保している。 田山地区、志子地区、古里・海野地区、木津、小山浦、引本浦、矢口方面、白浦、島勝浦地区の児童・生徒の送迎	遠距離通学している生徒の通学手段をスクールバスの運行により、適切に確保している。 田山地区、志子地区、古里・海野地区、木津、小山浦、引本浦、矢口方面、白浦、島勝浦地区の児童・生徒の送迎	学校教育課	1	4	0	0	0
		5	廃止代替バス、コミュニティバス、おでかけ応援サービスの効率的な運行の検討	住民懇談会を開催し、廃止代替バス、コミュニティバス、えがお等の利便性向上についての聞き取りを行った。令和5年度策定予定の公共交通計画に反映させる。	住民懇談会を開催し、廃止代替バス、コミュニティバス、えがお等の利便性向上についての聞き取りを行い、令和5年度に策定した地域公共交通計画に反映させた。	企画課	1	3	1	0	0
		6	新たな移動サービス導入の検討	デジタル技術を導入した移送サービス(自動運転、AI配車システム等)について情報収集を行った。また、松阪市の公共交通について、視察を行った。	デジタル技術を導入した移送サービス(自動運転、AI配車システム等)について情報収集を行った。	企画課	1	1	3	0	0
	(4)港湾改修の推進	1	港湾改修の促進	[県]江ノ浦大橋耐震化事業	[県]江ノ浦大橋耐震化事業	建設課	1	1	3	0	0
5. 住宅											
	(1)公営住宅の適切な維持管理	1	公営住宅の適切な維持管理	【管理戸数】海山地区13団地189戸、紀伊長島地区11団地85戸 【収納率】現年分100%、過年分5.59%、合計77.95% 紀北町公営住宅等長寿命化計画に基づき既設町営住宅の修繕等を行い、適切な維持管理に努めた	【管理戸数】海山地区13団地189戸、紀伊長島地区11団地80戸 【収納率】現年分100%、過年分5.4%、合計79.3% 紀北町公営住宅等長寿命化計画に基づき既設町営住宅の修繕等を行い、適切な維持管理に努めた	建設課	0	2	3	0	0

①安全・快適のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容	実 施 内 容	主担当課	評価結果 (部会委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
		2	公営住宅の点検の強化・管理・修繕等の推進	町営住宅等管理事業として志子団地6号室キッチン修繕等工事ほか102件を実施	町営住宅等管理事業として小山改団地1隣畳工事ほか111件を実施	建設課	0	2	3	0	0
	(2)既存住宅の耐震化の促進	1	住宅耐震化についての啓発	行政放送、広報きほく、各戸訪問により広報・啓発活動を行った	政放送、広報きほく、各戸訪問により広報・啓発活動を行った	建設課	1	2	1	0	0
		2	耐震診断・耐震改修等に対する支援	耐震診断34件、耐震設計1件、耐震工事2件、除却9件	耐震診断32件、耐震設計1件、耐震工事1件、除却10件	建設課	2	1	1	0	0
	(3)空き家対策の推進	1	空き家バンク制度、空き家改修補助金や紀北町空き家情報登録制度促進奨励金などの制度の周知と利用促進	「空き家登録促進補助金」(空き家の片付け・実績4件)、「空き家改修補助金」(成約済の空き家バンク利用登録者に対する家屋改修・実績0件)、「移住希望者宿泊補助金」(移住希望者が町内宿泊施設に滞在する費用の一部を補助・実績0件)、「空き家情報登録制度促進奨励金」(物件の所在する自治会が推薦し、空き家バンク制度で成約した場合の自治会への奨励金・実績0件)の交付により、空き家バンク制度を推進し、空き家の有効活用を図っている。	「空き家登録促進補助金」(空き家の片付け・実績2件)、「空き家改修補助金」(成約済の空き家バンク利用登録者に対する家屋改修・実績2件)、「移住希望者宿泊補助金」(移住希望者が町内宿泊施設に滞在する費用の一部を補助・実績1件)、「空き家情報登録制度促進奨励金」(物件の所在する自治会が推薦し、空き家バンク制度で成約した場合の自治会への奨励金・実績0件)の交付により、空き家バンク制度を推進し、空き家の有効活用を図っている。	企画課	1	2	1	0	0
		2	町内に存在する空き家の状況把握	(危機管理課) 空き家所有者からの相談や、危険性のある空き家の所有者等への空き家適正管理相談(助言や指導等)の実施。	(危機管理課) 空き家所有者からの相談や、危険性のある空き家の所有者等への空き家適正管理相談(助言や指導等)の実施。	危機管理課 企画課	1	1	2	0	0
		3	危険性のある空き家の所有者等へ適正管理の指導等	危険性のある空き家の所有者等への空き家適正管理相談(助言や指導等)の実施。	危険性のある空き家の所有者等への空き家適正管理相談(助言や指導等)を実施している。	危機管理課	1	1	1	1	0
6. 水道											
	(1)水源の確保と水道施設の整備	1	水源の保全、新たな水源の調査	「紀北町水道水源保護条例」に基づき、水質汚濁防止と水源保護を実施し、紀北町民が安心して飲める水の確保を行っている。 「紀北町水道事業基本計画・地域水道ビジョン」に基づき、新たな水源の調査と浄水場、配水池の整備について、検討を行っている。 令和3年度も、浄水場整備として、引続き三浦浄水場設備更新事業にて送水管設備工を施工している。	「紀北町水道水源保護条例」に基づき、水質汚濁防止と水源保護を実施し、紀北町民が安心して飲める水の確保を行っている。 「紀北町水道事業基本計画・地域水道ビジョン」に基づき、新たな水源の調査と浄水場、配水池の整備について、検討を行っている。 令和5年度も、浄水場整備として、便ノ山浄水場設備更新事業、紀伊長島地区上水道第二水源地設備更新事業を行っている。	水道課	1	2	1	0	0
		2	法定水質検査の実施	水道法施行規則において、過去の水質状況によって検査項目や回数が決められており、原水と処理水を検査している。 (年1回の全項目検査、年4回の22項目検査、毎月の9項目検査、クリプト検査)	水道法施行規則において、過去の水質状況によって検査項目や回数が決められており、原水と処理水を検査している。 (年1回の全項目検査、年4回の22項目検査、毎月の9項目検査、クリプト検査) 令和5年度においては、ピーファスの検査を追加した。	水道課	1	1	2	0	0
		3	施設、管路等の更新、耐震化	「紀北町水道事業基本計画・地域水道ビジョン」に基づき、老朽化が進んだ基幹管路を優先的に、耐震管による配水管の布設替工事を実施している。29年度に策定した「紀北町管路更新設備計画」に基づき、重要給水施設の老朽管の布設替を実施しており、令和4年度には、上里地区、矢口浦地区において布設替工事を行った。	「紀北町水道事業基本計画・地域水道ビジョン」に基づき、老朽化が進んだ基幹管路を優先的に、耐震管による配水管の布設替工事を実施している。29年度に策定した「紀北町管路更新設備計画」に基づき、重要給水施設の老朽管の布設替を実施しており、令和5年度には、呼崎地区、矢口浦地区において布設替工事を行った。	水道課	2	1	1	0	0
		4	水道網のループ化	海山地区においては、ループ化を行っているが、紀伊長島地区においては、三浦、赤羽、十須、紅ヶ平のループ化になっていないためループ化を図り、安定的な水道水の供給を行っていきたい。	海山地区においては、ループ化を行っているが、紀伊長島地区においては、三浦、赤羽、十須、紅ヶ平のループ化になっていないためループ化を図り、安定的な水道水の供給を行っていきたい。	水道課	1	1	2	0	0
		5	ボトルウォーター「銚子川の水」のPR	・町ホームページにて対面販売及びネット通販可能な店舗を掲載 ・紀北町観光協会を事業者として、ふるさと納税返戻品として掲載	・町ホームページにて対面販売及びネット通販可能な店舗を掲載 ・紀北町観光協会を事業者として、ふるさと納税返戻品として掲載	商工観光課	1	1	2	0	0
		6	非常用給水設備等の充実	緊急用浄水装置を紀伊長島地区1基、海山地区1基配備している。 平成26年度、平成27年度平成28年度に非常用給水袋を各1,000、計3,000袋購入し、赤羽保育所3,800、始神テラス600、便ノ山浄水場2,000の総計6,400袋配備している。 また、平成30年度において、沖見低区配水地において、緊急遮断弁を設置し災害時における対策を実施している。	緊急用浄水装置を紀伊長島地区1基、海山地区1基配備している。 平成26年度、平成27年度平成28年度に非常用給水袋を各1,000、計3,000袋購入し、赤羽保育所3,800、始神テラス600、便ノ山浄水場2,000の総計6,400袋配備している。 また、平成30年度において、沖見低区配水地において、緊急遮断弁を設置し災害時における対策を実施している。	水道課	1	3	0	0	0
	(2)水道の健全運営の推進	1	漏水調査の実施	漏水が頻発している地区において、職員による随時の漏水調査や、配水池に設置している遠隔監視モニターにて、使用量の少ない夜間のデータを活用し、漏水の有無を確認している。 また、検針月において各地区の水量をチェックし、漏水しているかを確認している。 有収水量率の低い地区を重点的に、専門業者に委託して漏水調査を実施しており、令和4年度は、島勝浦・白浦地区において漏水調査を行った。	漏水が頻発している地区において、職員による随時の漏水調査や、配水池に設置している遠隔監視モニターにて、使用量の少ない夜間のデータを活用し、漏水の有無を確認している。 また、検針月において各地区の水量をチェックし、漏水しているかを確認している。 有収水量率の低い地区を重点的に、専門業者に委託して漏水調査を実施しており、令和5年度は、矢口浦・鯨地区において漏水調査を行った。	水道課	1	1	2	0	0

①安全・快適のまち部会			紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表									
施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容	実 施 内 容	主担当課	評価結果 (部会委員5名)					
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E	
		2	事務事業の効率化	「紀北町水道事業基本計画・地域水道ビジョン」及び、企業債の平成24年度補償金免除線上償還に伴う「公営企業経営健全化計画」並びに、これらを踏まえ平成26年度末に県の認可を得た「紀北町上水道事業第1次変更認可申請」に基づく残る4つの簡易水道の上水道への統合を平成29年度より実施しており、地方公営企業会計制度の改正を反映した事務事業の効率化を進めている。 また、町道舗装工事に合わせ布設替工事を行うことにより、工事費の軽減が図れている。	「紀北町水道事業基本計画・地域水道ビジョン」及び、企業債の平成24年度補償金免除線上償還に伴う「公営企業経営健全化計画」並びに、これらを踏まえ平成26年度末に県の認可を得た「紀北町上水道事業第1次変更認可申請」に基づく残る4つの簡易水道の上水道への統合を平成29年度より実施しており、地方公営企業会計制度の改正を反映した事務事業の効率化を進めている。 また、町道舗装工事に合わせ布設替工事を行うことにより、工事費の軽減が図れている。	水道課	1	1	2	0	0	
7. 環境保全・環境衛生												
	(1)環境保全意識の高揚	1	環境保全意識の啓発	(環境管理課) ・広く町民への啓発をしていくため、環境保全に関する2種類の出前トークを用意し、要請により啓発活動の取り組みを実施している。 ・毎年度定期的に海や河川の水環境を測定・分析・検査し、結果を広報で周知することで、身近な水環境に対する関心を促すとともに、保全意識の高揚に努めている。 ・浄化槽は、環境保全効果を身近に体験できる施設として、住民の環境に対する意識の高揚が図れる施設であることから、住民に対して、浄化槽設置の意義、補助金制度、適正な維持管理の必要性について、引き続き、町ホームページ等で啓発活動を行っていく。 ・紀北町生活環境の保全に関する条例の周知活動を行っていく。 (商工観光課) ・夏季の銚子川の駐車場、路上駐車、ゴミ・トイレ問題については、パトロール、徴収員・警備員の配置、看板・仮設トイレの設置などを行い、魚飛溪駐車場と権兵衛の里駐車場の夏季臨時有料駐車場を設けた。また、魚飛橋から種まき権兵衛の里付近までの路側帯へ駐禁テープやA型バリケートなどを活用して路上駐車対策を実施した。直火禁止の看板の設置等。 引き続き、路上駐車や環境保全等については、尾鷲建設事務所、尾鷲警察署と意見交換をして議論・検討を進めている。 (企画課) ・夏季の銚子川で発生している駐車場・ゴミ・トイレ問題について、パトロール、駐車場の整備、看板設置及び警備員の配置などを実施した。また、路上駐車や環境保全等について尾鷲建設事務所、尾鷲警察署との三者で意見交換をして課題解決に向けて議論・検討を進めている。 また、銚子川の利用状況を把握するため、銚子川現状調査を行った。	(環境管理課) ・広く町民への啓発をしていくため、環境保全に関する2種類の出前トークを用意し、要請により啓発活動の取り組みを実施している。 ・毎年度定期的に海や河川の水環境を測定・分析・検査し、結果を広報で周知することで、身近な水環境に対する関心を促すとともに、保全意識の高揚に努めている。 ・浄化槽は、環境保全効果を身近に体験できる施設として、住民の環境に対する意識の高揚が図れる施設であることから、住民に対して、浄化槽設置の意義、補助金制度、適正な維持管理の必要性について、引き続き、町ホームページ等で啓発活動を行っていく。 ・紀北町生活環境の保全に関する条例の周知活動を行っていく。 (商工観光課) ・夏季の銚子川の駐車場、路上駐車、ゴミ・トイレ問題については、パトロール、徴収員・警備員の配置、看板・仮設トイレの設置などを行い、魚飛溪駐車場と権兵衛の里駐車場の夏季臨時有料駐車場を設けた。また、魚飛橋から種まき権兵衛の里付近までの路側帯へ駐禁テープやA型バリケートなどを活用して路上駐車対策を実施した。直火禁止の看板の設置等。 引き続き、路上駐車や環境保全等については、尾鷲建設事務所、尾鷲警察署と意見交換をして議論・検討を進めている。 (企画課) ・夏季の銚子川で発生している駐車場・ゴミ・トイレ問題について、パトロール、駐車場の整備、看板設置及び警備員の配置などを実施した。また、路上駐車や環境保全等について尾鷲建設事務所、尾鷲警察署との三者で意見交換をして課題解決に向けて議論・検討を進めている。 また、銚子川の利用状況を把握するため、銚子川現状調査を行った。その他大学生による調査を行い、改善提案をもらった。	環境管理課 商工観光課 企画課	1	1	2	0	0	
		2	環境教育等の推進	・広く町民への啓発をしていくため、環境保全に関する2種類の出前トークを用意し、要請により啓発活動の取り組みを実施している。	・広く町民への啓発をしていくため、環境保全に関する2種類の出前トークを用意し、要請により啓発活動の取り組みを実施している。 ・紀北町オリジナルのごみ分別カードゲーム『MIRAI』を作成し、子どもの頃からのごみ分別に対する意識の醸成を図っている。	環境管理課	1	2	1	0	0	
		3	環境保全活動の支援	・水環境を悪化させる生活排水について、改善策として環境浄化剤を試験投入しており、悪化している河川等の有効な環境改善策を模索している。 ・家庭などから出る生活雑排水による汚濁負荷量の低減のため、合併処理浄化槽を普及させ、その有効性についての周知を図っている。	・水環境を悪化させる生活排水について、改善策として環境浄化剤を試験投入しており、悪化している河川等の有効な環境改善策を模索している。 ・家庭などから出る生活雑排水による汚濁負荷量の低減のため、合併処理浄化槽を普及させ、その有効性についての周知を図っている。	環境管理課	1	2	1	0	0	
	(2)環境保全施策の展開	1	行政、住民、事業者が一体となった自然保護・環境保全対策	・海山地区において、自治会主催の環境美化運動「クリーンクリーンデー」を共催している。(実施日：毎年5月の第4日曜日、22地区のうち3地区は別の日に実施)	・海山地区において、自治会主催の環境美化運動「クリーンクリーンデー」を共催している。(実施日：毎年5月の第4日曜日、22地区のうち3地区は別の日に実施)	環境管理課	1	2	1	0	0	
		2	省資源、省エネルギー、リサイクルの促進	・ごみ収集カレンダーや家庭ごみ減量分別ガイドブックのきめ細かな配布、広報等を通じて、資源分別収集の意識などが住民に定着してきている。 ・各自治会等で設置された通常ごみステーションの更新等に補助をし、充実したごみステーションからの収集を可能にしている。 ・転入者に対して、町のごみ収集や分別方法を的確に理解していただくため、一人ひとりに個別に説明し、必要な啓発冊子等を手渡している。 ・住民のごみ処理サービス向上を目指すため、ごみステーションの更新や生ごみ処理機への補助制度の制度作りを行い、ごみ処理制度の充実を図っている。 ・ごみ分別アプリ「さんあーる」の運用。 ・リネット(宅急便を活用した小型家電リサイクル)の周知・活用	・ごみ収集カレンダーや家庭ごみ減量分別ガイドブックのきめ細かな配布、広報等を通じて、資源分別収集の意識などが住民に定着してきている。 ・各自治会等で設置された通常ごみステーションの更新等に補助をし、充実したごみステーションからの収集を可能にしている。 ・転入者に対して、町のごみ収集や分別方法を的確に理解していただくため、一人ひとりに個別に説明し、必要な啓発冊子等を手渡している。 ・住民のごみ処理サービス向上を目指すため、ごみステーションの更新や生ごみ処理機への補助制度の制度作りを行い、ごみ処理制度の充実を図っている。 ・ごみ分別アプリ「さんあーる」の運用。 ・リネット(宅急便を活用した小型家電リサイクル)の周知・活用	環境管理課	1	1	2	0	0	
		3	公共施設全般での温室効果ガスの削減	・紀北町地球温暖化対策実行計画に基づき、庁舎など行政施設を対象にし、電気使用量やガソリンなどCO2の削減を図っている。	・紀北町地球温暖化対策実行計画に基づき、庁舎など行政施設を対象にし、電気使用量やガソリンなどCO2の削減を図っている。	環境管理課	1	1	2	0	0	

①安全・快適のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容	実 施 内 容	主担当課	評価結果 (部会委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
		4	公害環境調査の実施	・毎年度定期的に大気・水・土壌の環境測定・分析・検査を町内各所で実施しており、環境状態を常に監視し経過を監視・記録している。また、環境への影響を懸念する事態が生じた場合は、追加調査を実施している。 ・紀北町生活環境の保全に関する条例に基づく調査の実施。	・毎年度定期的に大気・水・土壌の環境測定・分析・検査を町内各所で実施しており、環境状態を常に監視し経過を監視・記録している。また、環境への影響を懸念する事態が生じた場合は、追加調査を実施している。 ・紀北町生活環境の保全に関する条例に基づく調査の実施。	環境管理課	1	1	2	0	0
		5	銚子川周辺などの環境保全	(環境管理課) ・海や河川の水質検査結果は毎年広報で報告し、広く安全を町民に周知し確認していたくとともに、水環境への意識の啓発に役立てている。 (商工観光課) ・夏季の銚子川の駐車場、路上駐車、ゴミ・トイレ問題については、パトロール、徴収員・警備員の配置、看板・仮設トイレの設置などを行い、魚飛溪駐車場と権兵衛の里駐車場の夏季臨時有料駐車場を設けた。また、魚飛橋から種まき権兵衛の里付近までの路側帯へ駐禁テープやA型バリケートなどを活用して路上駐車対策を実施した。直火禁止の看板の設置等。 引き続き、路上駐車や環境保全等については、尾鷲建設事務所、尾鷲警察署と意見交換をして議論・検討を進めている。 (企画課) ・夏季の銚子川で発生している駐車場・ゴミ・トイレ問題について、パトロール、駐車場の整備、看板設置及び警備員の配置などを実施した。また、路上駐車や環境保全等について尾鷲建設事務所、尾鷲警察署との三者で意見交換をして課題解決に向けて議論・検討を進めている。 また、銚子川の利用状況を把握するため、銚子川現状調査を行った。	(環境管理課) ・海や河川の水質検査結果は毎年広報で報告し、広く安全を町民に周知し確認していたくとともに、水環境への意識の啓発に役立てている。 (商工観光課) ・夏季の銚子川の駐車場、路上駐車、ゴミ・トイレ問題については、パトロール、徴収員・警備員の配置、看板・仮設トイレの設置などを行い、魚飛溪駐車場と権兵衛の里駐車場の夏季臨時有料駐車場を設けた。また、魚飛橋から種まき権兵衛の里付近までの路側帯へ駐禁テープやA型バリケートなどを活用して路上駐車対策を実施した。直火禁止の看板の設置等。 引き続き、路上駐車や環境保全等については、尾鷲建設事務所、尾鷲警察署と意見交換をして議論・検討を進めている。 (企画課) ・夏季の銚子川で発生している駐車場・ゴミ・トイレ問題について、パトロール、駐車場の整備、看板設置及び警備員の配置などを実施した。また、路上駐車や環境保全等について尾鷲建設事務所、尾鷲警察署との三者で意見交換をして課題解決に向けて議論・検討を進めている。 また、銚子川の利用状況を把握するため、銚子川現状調査を行った。その他大学生による調査を行い、改善提案をもらった。	環境管理課 商工観光課 企画課	1	2	1	1	0
		6	ゼロカーボンシティの実現に向けた調査	(環境管理課) ・地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業への申請、交付決定を受けた	(環境管理課) ・地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業への申請、交付決定を受けた	環境管理課 企画課	1	1	3	0	0
		7	ササユリ・カンムリウミスズメ等の保護	(環境管理課) ・自然界に不法投棄されたごみが野生動物の生態に悪影響を及ぼすことから、不法投棄パトロールや啓発を強化し、不法投棄を発見した場合には通報及び関係機関との連携した対応に努めている。 (農林水産課 林政係) ・適切な森林管理により認証(FSC認証)を受けている町有林では、貴重な動植物の保護に努めることとしている。 (商工観光課) ・例年、ササユリの保護と、育てる会の運営及び会員相互の情報交換を行っているが、コロナ禍のため会員の自主活動に委ねた。	(環境管理課) ・自然界に不法投棄されたごみが野生動物の生態に悪影響を及ぼすことから、不法投棄パトロールや啓発を強化し、不法投棄を発見した場合には通報及び関係機関との連携した対応に努めている。 (商工観光課) ・例年、ササユリの保護と、育てる会の自主活動及び会員相互の情報交換を行っている。 (農林水産課 林政係) ・適切な森林管理により認証(FSC認証)を受けている町有林では、貴重な動植物の保護及び生物多様性の保全に努めることとしている。	環境管理課 農林水産課 商工観光課	1	1	3	0	0
	(3)ごみ収集・処理体制の充実	1	広域的なごみ処理施設の整備	東紀州広域ごみ処理に係る一部事務組合「東紀州環境施設組合」を設立し、ごみ処理広域化を目指し、ごみ処理施設整備等を推進中である。	東紀州広域ごみ処理に係る一部事務組合「東紀州環境施設組合」を設立し、ごみ処理広域化を目指し、ごみ処理施設整備等を推進中である。	環境管理課	1	2	2	0	0
		2	ごみの減量化の推進	・ごみ収集カレンダーや家庭ごみ減量分別ガイドブックのきめ細かな配布、広報等を通じて、資源分別収集の意識などが住民に定着してきている。 ・各自治会等で設置された通常ごみステーションの更新等に補助をし、充実したごみステーションからの収集を可能にしている。 ・転入者に対して、町のごみ収集や分別方法を的確に理解していただくため、一人ひとりに個別に説明し、必要な啓発冊子等を手渡している。 ・住民のごみ処理サービス向上を目指すため、ごみステーションの更新や生ごみ処理機への補助制度の制度作りを行い、ごみ処理制度の充実を図っている。 ・ごみ分別アプリ「さんあーる」の運用。 ・リネット(宅急便を活用した小型家電リサイクル)の周知・活用	・ごみ収集カレンダーや家庭ごみ減量分別ガイドブックのきめ細かな配布、広報等を通じて、資源分別収集の意識などが住民に定着してきている。 ・各自治会等で設置された通常ごみステーションの更新等に補助をし、充実したごみステーションからの収集を可能にしている。 ・転入者に対して、町のごみ収集や分別方法を的確に理解していただくため、一人ひとりに個別に説明し、必要な啓発冊子等を手渡している。 ・住民のごみ処理サービス向上を目指すため、ごみステーションの更新や生ごみ処理機への補助制度の制度作りや生ごみ処理機のレンタル事業を行い、ごみ処理制度の充実を図っている。 ・紀北町オリジナルのごみ分別カードゲーム『MIRAI』を作成し、子どもの頃からのごみ分別に対する意識の醸成を図っている。 ・ごみ分別アプリ「さんあーる」の運用。 ・リネット(宅急便を活用した小型家電リサイクル)の周知・活用	環境管理課	2	2	1	0	0
		3	不法投棄防止対策の充実	・広報紙、行政放送での啓発及び現地への看板の設置をはじめ、環境パトロールや撤去機材の充実とともに、投棄場所によっては国、県と連携した対応を行ってきた。	・広報紙、行政放送での啓発及び現地への看板の設置をはじめ、環境パトロールや撤去機材の充実とともに、投棄場所によっては国、県と連携した対応を行ってきた。	環境管理課	1	2	2	0	0
		4	災害廃棄物処理体制の整備	・平成28年度に紀北町災害廃棄物処理計画を策定し、平成30年度に処理計画の見直しを行った。今後も処理計画の見直し及び実施計画の検討を行っていく。	・平成28年度に紀北町災害廃棄物処理計画を策定し、平成30年度に処理計画の見直しを行った。今後も処理計画の見直し及び実施計画の検討を行っていく。	環境管理課	1	2	2	0	0

①安全・快適のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容	実 施 内 容	主担当課	評価結果 (部会委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
		5	不燃物処理場の延命化	・長島不燃物処理場については、埋立を要する全ての事業系ごみ受入停止をし、町内に最終処分場を設置せずに不燃物等を町外へ運搬処理する手法により現最終処分場の機能回復を進めている。海山不燃物も同様に進めている。	・長島不燃物処理場については、埋立を要する全ての事業系ごみ受入停止をし、町内に最終処分場を設置せずに不燃物等を町外へ運搬処理する手法により現最終処分場の機能回復を進めている。海山不燃物も同様に進めている。	環境管理課	1	2	2	0	0
	(4)生活排水処理等の推進	1	合併処理浄化槽の設置支援	・住宅への合併処理浄化槽の設置に対する補助金制度を設けており、設置に対する支援を行っている。 ・汲み取り便槽や単独処理浄化槽からの合併処理浄化槽への転換を普及・促進するため、新規設置補助額を上回る補助金支援を行っている。	・住宅への合併処理浄化槽の設置に対する補助金制度を設けており、設置に対する支援を行っている。 ・汲み取り便槽や単独処理浄化槽からの合併処理浄化槽への転換を普及・促進するため、新規設置補助額を上回る補助金支援を行っている。	環境管理課	2	1	2	0	0
		2	合併処理浄化槽の維持管理指導	・浄化槽の使用者に対して、保守点検・清掃・法定検査を定期的を実施するとともに、日常の管理方法について、ホームページ、パンフレットの配布等により啓発している。 ・浄化槽設置の際には現地を確認し、設置場所や完成後の放流等が妥当であるかの現地確認を行っている。	・浄化槽の使用者に対して、保守点検・清掃・法定検査を定期的を実施するとともに、日常の管理方法について、ホームページ、パンフレットの配布等により啓発している。 ・浄化槽設置の際には現地を確認し、設置場所や完成後の放流等が妥当であるかの現地確認を行っている。	環境管理課	1	1	3	0	0
		3	し尿処理施設の適正な維持管理	・保守点検など必要な維持管理をしつつ、技術を持った職員配置によって適切な運営管理を続けている。	・保守点検など必要な維持管理をしつつ、技術を持った職員配置によって適切な運営管理を続けている。	環境管理課	1	1	3	0	0
		4	災害発生時のし尿の計画的な収集体制の整備	・平成28年度に紀北町災害廃棄物処理計画を策定し、平成30年度に処理計画の見直しを行った。今後も処理計画の見直し及び実施計画の検討を行っていく。	・平成28年度に紀北町災害廃棄物処理計画を策定し、平成30年度に処理計画の見直しを行った。今後も処理計画の見直し及び実施計画の検討を行っていく。	環境管理課	1	1	3	0	0
	(5)火葬場・墓地の適切な運営・管理	1	「浄聖苑」、「荷坂やすらぎ苑」の適切な運営	・浄聖苑は町直営で運営管理をしており、設備機器の保守点検など必要な維持管理を行いつつ、技術を持った職員配置によって適正な運営管理を続けている。 ・荷坂やすらぎ苑は、大紀町との一部事務組合で運営管理をしており、両町が集まる幹事会などでの所要の調整を図ることで、適正な運営管理がされている。	・浄聖苑は町直営で運営管理をしており、設備機器の保守点検など必要な維持管理を行いつつ、技術を持った職員配置によって適正な運営管理を続けている。 ・荷坂やすらぎ苑は、大紀町との一部事務組合で運営管理をしており、両町が集まる幹事会などでの所要の調整を図ることで、適正な運営管理がされている。	環境管理課	1	1	3	0	0
		2	町営墓地の適正な運営・管理	・町営長島墓地については、町直営で、墓地の管理、清掃を行っており、必要に応じ修繕工事のほか要望のある施設を設置している。	・町営長島墓地については、町直営で、墓地の管理、清掃を行っており、必要に応じ修繕工事のほか要望のある施設を設置している。	環境管理課	1	1	3	0	0
		3	各地区の墓地への支援	・各自治会等が管理する墓地の修繕に対しては、事業費の3分の1の助成をしている。	・各自治会等が管理する墓地の修繕に対しては、事業費の3分の1の助成をしている。	環境管理課	0	2	3	0	0
	(6)衛生対策の推進	1	畜犬登録管理システムの活用による予防接種勧奨	・畜犬登録管理システムを運用し、所有者と犬に関する情報管理のほか、予防注射の接種についての勧奨や状況把握を容易にしている。 ・町内巡回による狂犬病予防注射を実施し、接種率の向上に努めている。 ・保健所及び獣医師との連携を取りながら、ペット等の飼育でおくる問題に対応している。 ・災害時には、動物救護活動の協力を得るため、三重県獣医師会紀州支部と「災害時動物救護活動に関する協定」を締結している。 ・動物の愛護と適正な飼養についての理解と関心を深めていただくため、動物愛護週間のポスターの掲示、パンフレットの配布など動物の愛護と管理に関する普及啓発に努めている。	・畜犬登録管理システムを運用し、所有者と犬に関する情報管理のほか、予防注射の接種についての勧奨や状況把握を容易にしている。 ・町内巡回による狂犬病予防注射を実施し、接種率の向上に努めている。 ・保健所及び獣医師との連携を取りながら、ペット等の飼育でおくる問題に対応している。 ・災害時には、動物救護活動の協力を得るため、三重県獣医師会紀州支部と「災害時動物救護活動に関する協定」を締結している。 ・動物の愛護と適正な飼養についての理解と関心を深めていただくため、動物愛護週間のポスターの掲示、パンフレットの配布など動物の愛護と管理に関する普及啓発に努めている。	環境管理課	1	1	3	0	0
		2	TNR先行型地域猫活動の推進	・三重県が行うTNR先行型地域猫活動に共に取り組み、猫の殺処分数の減少や地域における飼い主のいない猫の解決に努めている。	・三重県が行うTNR先行型地域猫活動に共に取り組み、猫の殺処分数の減少や地域における飼い主のいない猫の解決に努めている。	環境管理課	1	2	2	0	0
8. 情報化											
	(1)行政情報化の推進	1	庁内ネットワーク及びシステム等の整備充実	ネットワーク強化化システムを更新し、庁内のサーバーを更新した。	庁内ネットワーク機器の更新を行い、業務用に無線LAN環境を新規構築した	企画課	1	2	2	0	0
		2	地理情報システムの活用	WebGISのデータ更新を行った。	GISのバージョンアップを実施し、より見やすく操作しやすいシステムに更新した	企画課	1	2	2	0	0
		3	セキュリティ対策の強化	ファイル無害化ソフトを導入し、LGWAN環境の改善に務めた	LGWAN系及びインターネット系の全端末およびサーバにEDRを導入し、セキュリティの更なる強化を行った(EDR:平時とは異なる端末の挙動を検知し、対処するセキュリティシステム)	企画課	1	1	3	0	0
		4	マイナンバーカードを活用したサービス提供	ぴったりサービスを利用し、マイナンバーカードを利用した電子申請を開始した。	ぴったりサービスを利用した電子申請の申請対象を拡大した	企画課	1	1	3	0	0
		5	窓口オンラインシステム、診療支援、新たな移動サービス、オンライン講座等の開催などの導入検討	スーパーシティ推進協議会により、6町連携した窓口オンラインシステムの検討を行った。	総務省の令和5年度自治体フロントヤード改革モデルプロジェクトの採択を受け、窓口の多様化やバックヤードのデータ連携、周辺自治体との共同運用の検討などの取組を進めている	企画課	1	1	3	0	0
	(2)地域情報化の推進	1	ホームページやSNS等の充実	ホームページやFacebookなどで行政情報やイベント情報の詳細の提供を行った。	紀北町公式LINEアカウントの運用を開始。情報を迅速に、且つ欲しい方にだけピンポイントに配信できるシステムを構築した。	企画課	1	1	3	0	0
		2	テレビ・ラジオ、携帯電話の整備促進	5G基地局の整備等国の動向を見据えながら整備を検討する。	現在、町内のほぼ全地域で受信が困難な地域はなく、概ね全地域に普及したと考える	企画課	1	2	2	0	0

①安全・快適のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策 項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		実 施 内 容		主担当課	評価結果 (部会委員5名)				
				令和4年度		令和5年度			A	B	C	D	E
		3	公共施設などでの公衆無線LANの整備	本庁舎において無線Lan整備の検討		本庁舎および海山総合支所において無線LAN整備の検討を行っている		企画課	1	1	3	0	0
		4	情報通信技術の活用促進	スマホ教室を開催した。		スマホ教室を開催した		企画課	1	0	4	0	0

②健康・福祉のまち部会				紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表										
施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		実 施 内 容		主担当課	計画結果 (報告委員5名)					
				令和4年度	令和5年度	A	B		C	D	E			
基本目標2 やさしさを支え合う健康・福祉のまち														
1. 子育て・児童福祉														
	(1)総合的な子育て支援の充実	1	子育て支援センターの充実	子育て家庭を支援するため、子育て支援センターを町内の児童福祉施設、医療施設3ヶ所に業務を委託。		子育て家庭を支援するため、子育て支援センターを町内の児童福祉施設、医療施設3か所に業務を委託。		福祉保健課	1	3	1	0	0	
		2	放課後児童クラブの充実	町内2ヶ所において放課後児童クラブを実施。登録人数49人。		町内3か所において放課後児童クラブを実施。登録人数64人。		福祉保健課	2	1	2	0	0	
		3	乳児家庭全戸訪問事業の実施	令和4年度実績 51 件		実績 41 件		福祉保健課	1	2	2	0	0	
		4	養育支援訪問事業の実施	令和4年度実績 18 件		実績 15 件		福祉保健課	1	3	1	0	0	
	(2)保育サービス等の充実	1	ニーズに応じた保育サービスの充実	町内の私立保育園において、里帰り出産等による広域入所の受入れを実施。		町内の私立保育園において、里帰り出産等による広域入所の受入れを実施。		福祉保健課	1	3	1	0	0	
		2	保育施設の充実	私立保育園が耐震工事を実施する際には、補助金等を活用し、保育園の耐震化を図っている。		私立保育園が耐震工事を実施する際には、補助金等を活用し、保育園の耐震化を図っている。		福祉保健課	1	3	0	1	0	
		3	私立保育所への支援	保育所運営事業補助金361,078千円、障害児保育事業費補助金9,786千円、重度障害児保育保育士特別加配補助金6,146千円		保育所運営事業補助金349,379千円、障害児保育事業費補助金6,228千円、重度障害児保育保育士特別加配補助金4,794千円		福祉保健課	1	4	0	0	0	
		4	多子世帯の保育料軽減措置の充実	幼稚園や保育所をきょうだいで利用の場合、きょうだいで利用している最年長の子どもから順に第2子半額、第3子以降無料。		幼稚園や保育所をきょうだいで利用の場合、きょうだいで利用している最年長の子どもから順に第2子半額、第3子以降無料。		福祉保健課	2	3	0	0	0	
		5	副食費の無償化	保育料無償化に伴い一部の保護者の実費負担となる副食(おかず、おやつ等)の費用を3歳から5歳のすべての子どもについて無償化を実施。(年収360万円未満相当以上)副食費補助5,544千円		保育料無償化に伴い一部の保護者の実費負担となる副食(おかず、おやつ等)の費用を3歳から5歳のすべての子どもについて無償化を実施。(年収360万円未満相当以上)副食費補助6,241千円		福祉保健課	1	3	1	0	0	
	(3)子どもと親の健康の増進	1	乳児家庭全戸訪問事業の実施	令和4年度実績 51件		実績 41 件		福祉保健課	2	2	1	0	0	
		2	各種健診、健康相談の実施	健診や保健指導、健康教育等、各種事業を実施し、住民の健康の保持増進を図った。		健診や保健指導、健康教育等、各種事業を実施し、住民の健康の保持増進を図った。		福祉保健課	1	3	1	0	0	
	(4)要保護児童等への対応の推進	1	要保護児童等への対応	紀州児童相談所との定例ケース会議を6回開催。 その他、実務者会議3回、随時ケース会議16回、課内定例会議12回開催。		紀州児童相談所との定例ケース会議を6回開催。 その他、実務者会議3回、随時ケース会議16回、課内定例会議12回開催。		福祉保健課	1	3	1	0	0	
		2	子ども・ひとり親家庭への医療費助成	令和元年9月受診分から未就学児の現物給付を開始し、継続して給付を行った。		令和元年9月受診分から未就学児の現物給付を開始し、継続して給付を行った。		住民課	1	3	1	0	0	
		3	子ども家庭総合支援拠点の設置	令和4年10月1日開設。		令和4年10月1日開設。		福祉保健課	2	2	1	0	0	
		4	困難を抱える子どもへの支援	児童相談所、保育園等関係機関と連携し支援を実施。		児童相談所、保育園等関係機関と連携し支援を実施。		福祉保健課	0	4	1	0	0	
	(5)結婚・出産等を希望する若い世代への支援	1	紀北町結婚新生活支援事業の実施	平成29年度より、婚姻後、町内に住居を構える方に対して、住居費及び引っ越し費用の一部を助成する「紀北町結婚新生活支援事業」を実施。(令和4年度:上限額29歳以下600千円、39歳以下300千円、申請件数:5件 支払合計額:1,650千円)		平成29年度より、婚姻後、町内に住居を構える方に対して、住居費及び引っ越し費用の一部を助成する「紀北町結婚新生活支援事業」を実施。(上限額29歳以下600千円、39歳以下300千円、申請件数:3件 支払合計額:578千円)		福祉保健課	0	3	2	0	0	
		2	きほくファミラボによる情報提供	若い世代の結婚、出産、子育ての希望がかなう地域づくりに向けたポータルサイト「きほくファミラボ」を公開。		若い世代の結婚、出産、子育ての希望がかなう地域づくりに向けたポータルサイト「きほくファミラボ」を公開。		福祉保健課	0	3	2	0	0	
		3	不妊治療費等の助成	不妊治療費を一部助成し、不妊治療を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図った。延9件。		不妊治療費を一部助成し、不妊治療を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図った。延5件。		福祉保健課	0	2	3	0	0	
2. 高齢者福祉														
	(1)高齢者が安心して暮らせる地域づくり	1	地域包括支援センターの機能強化	紀北広域連合と連携して地域包括支援センターの機能強化を図った。		紀北広域連合と連携して地域包括支援センターの機能強化を図った。		福祉保健課	0	4	1	0	0	
		2	地域医療・介護の連携	在宅医療介護連携支援センターにおいて身寄りのない人の入院・入所に関するガイドラインの作成を行った。		在宅医療介護連携支援センターにおいて身寄りのない人の入院・入所に関するガイドラインの作成を行った。		福祉保健課	0	5	0	0	0	
		3	生活支援コーディネーター活動による生活支援体制の充実	SCと行政がすり合わせを行い理解を深め、また他市町のSCとも意見交換を行い、第一層協議体を開催(6回)し、食に関する資源の一覧を作成、また町民向けに通信を発行(2回)するのとともにSCに関する周知のチラシ設置し事業の啓発を図った。		SCと行政がすり合わせを行い理解を深め、また他市町のSCとも意見交換を行い、第一層協議体を開催(6回)し、食に関する資源の一覧を作成、また町民向けに通信を発行(2回)するのとともにSCに関する周知のチラシ設置し事業の啓発を図った。		福祉保健課	0	4	1	0	0	
		4	緊急通報装置の設置	令和4年度実績 188件		実績 170件		福祉保健課	0	4	1	0	0	
		5	配食サービスの実施	令和4年度 114件 12,373食		実績 120件、13,839食		福祉保健課	0	4	0	1	0	

②健康・福祉のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		主担当課	計画結果 (部会委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
		6	地域での見守り体制の構築	社会福祉協議会と民生委員・児童委員、各種関係機関と連携し、高齢者訪問等の福祉活動を実施。 社会福祉協議会等の各種関係機関と連携し、世帯の抱える問題を把握し、必要としているサービスの提案・提供を行うなど地域住民への見守りを実施。	社会福祉協議会と民生委員・児童委員、各種関係機関と連携し、高齢者訪問等の福祉活動を実施。 社会福祉協議会等の各種関係機関と連携し、世帯の抱える問題を把握し、必要としているサービスの提案・提供を行うなど地域住民への見守りを実施。	福祉保健課	0	5	0	0	0
		7	気軽に集える場(サロン、集いの場)の充実	いきいきクラブ連合会及び地区単位いきいきクラブに対する補助金の支給。高齢者演芸大会を町社会福祉協議会に委託し実施。	いきいきクラブ連合会及び地区単位いきいきクラブに対する補助金の支給。高齢者演芸大会を町社会福祉協議会に委託し実施。	福祉保健課	1	3	0	1	0
		8	ねたきり老人等福祉保健手当の支給	令和4年度実績 78件(実人数) 3,735,000円	実績 57件(実人数) 2,195,000円	福祉保健課	1	3	1	0	0
		9	家族介護教室の開催	地域包括支援センターに委託し、介護者の集い等(令和4年度2回)を開催している。 新型コロナウイルス蔓延状況を考慮しながら開催した。	地域包括支援センターに委託し、介護者の集い等(3回)を開催している。 新型コロナウイルス蔓延状況を考慮しながら開催した。	福祉保健課	0	4	1	0	0
		10	町営老人ホームの整備	入居者が安全で安心できる住環境を整備。	入居者が安全で安心できる住環境を整備。	福祉保健課	0	4	0	1	0
	(2)認知症対策の推進	1	認知症ハンドブック(ケアパス)の普及	認知症施策推進事業として紀北町社会福祉協議会(地域包括支援センター)に委託	認知症施策推進事業として紀北町社会福祉協議会(地域包括支援センター)に委託	福祉保健課	1	3	1	0	0
		2	認知症初期集中支援チームによる活動	認知症施策推進事業として紀北町社会福祉協議会(地域包括支援センター)に委託し、専門医・サポート医・包括職員等を構成員とし、認知症初期集中支援チーム員会議(R4・1回)を実施。認知症に関する相談にも対応した(R4.51件)また、医師や歯科医師会や薬剤師会、認知症疾患センター等の職員で検討を図る認知症検討委員会を1回実施。	認知症施策推進事業として紀北町社会福祉協議会(地域包括支援センター)に委託し、専門医・サポート医・包括職員等を構成員とし、認知症初期集中支援チーム員会議(6回)を実施。認知症に関する相談にも対応した(70件)。また、医師や歯科医師会や薬剤師会、認知症疾患センター等の職員で検討を図る認知症検討委員会を実施(1回)。	福祉保健課	2	3	0	0	0
		3	認知症サポーターの養成	地域包括支援センターに委託し、社協職員や介護事業所及び民生委員を対象に認知症サポーター養成講座(R4・2回)小学生を対象とした認知症キッズサポーター(R4・8回)を実施。	地域包括支援センターに委託し、社協職員や介護事業所及び民生委員を対象に認知症サポーター養成講座(4回)小学生を対象とした認知症キッズサポーター(4回)を実施。	福祉保健課	0	3	2	0	0
		4	認知症カフェの開催支援	認知症施策推進事業として紀北町社会福祉協議会(地域包括支援センター)に委託	認知症施策推進事業として紀北町社会福祉協議会(地域包括支援センター)に委託	福祉保健課	0	3	2	0	0
	(3)介護予防・健康づくりの推進	1	訪問型サービス・通所型サービスの充実	雇用労働者によるサービスと住民主体による支援等を実施している。	雇用労働者によるサービスと住民主体による支援等を実施している。	福祉保健課	0	4	1	0	0
		2	配食サービスの実施	令和4年度 114件、12,373食	実績 120件、13,839食	福祉保健課	0	4	1	0	0
		3	介護予防・健康づくりの推進	高齢者が心身の健康を保持するために住民が主体となって身近なところで気軽に集える住民主体の通いの場の支援を実施。通いの場に参加できない方でも、自宅で「きほく活活体操」や「健康ウォーキング」など健康づくりができるように行政放送で啓発を行った。また、食事・運動の個々の体力や生活習慣に応じた目標を設定し、実践・継続する「ちょい減らし+10チャレンジ」の定着を図った。	高齢者が心身の健康を保持するために住民が主体となって身近なところで気軽に集える住民主体の通いの場の支援を実施。その他、ウォーキング教室やアプリを使ったウォーキングイベントを実施。また、行政チャンネルにて、「きほく活活体操」やラジオ体操の実践、筋カトレーニング、食事や口腔ケアの注意点を放送し、「ちょい減らし+10」の実践と「チャレンジ」への参加促進を実施した。	福祉保健課	1	4	0	0	0
	(4)生きがいづくりと社会参加の促進	1	いきいきクラブ活動への支援	いきいきクラブ連合会及び地区単位いきいきクラブに対する補助金の支給。	いきいきクラブ連合会及び地区単位いきいきクラブに対する補助金の支給。	福祉保健課	0	4	1	0	0
		2	シルバー人材センターへの支援	公共施設の管理・清掃等のほか、福祉機器の消毒、修理など委託。	公共施設の管理・清掃等のほか、福祉機器の消毒、修理など委託。	福祉保健課	0	4	1	0	0
3. 障がい者福祉											
	(1)障がい福祉サービスの充実	1	障がい福祉サービスの充実	町内外9箇所の事業所に業務委託し、地域生活支援事業(移動支援・日中一時支援等)を実施。また社会参加促進事業補助金として免許取得費・自動車改造費の補助を実施。	町内外9か所の事業所に業務委託し、地域生活支援事業(移動支援・日中一時支援等)を実施。また社会参加促進事業補助金として免許取得費・自動車改造費の補助を実施。	福祉保健課	0	4	1	0	0
		2	制度の周知	窓口相談の際などに制度やサービスの周知を行っている。	窓口相談の際などに制度やサービスの周知を行っている。	福祉保健課	0	4	0	1	0
		3	障がい者の相談支援体制の充実	令和4年度相談者実数136名。関係機関と連携して支援を行うケースが増加し、相談支援の体制も強化されている。	相談者実数 120名。関係機関と連携して支援を行うケースが増加し、相談支援の体制も強化されている。	福祉保健課	0	3	2	0	0
	(2)療育支援体制の充実	1	療育支援体制の充実	令和4年度の紀北圏域療育事業(すまいる教室)については尾鷲市社会福祉協議会に委託し運営。運営資金については尾鷲市と紀北町で負担(紀北町1/3) 令和3年度実績(紀北町) 登録者数13名	紀北圏域療育事業(すまいる教室)については尾鷲市社会福祉協議会に委託し運営。運営資金については尾鷲市と紀北町で負担(紀北町1/3) 実績 紀北町登録者数 11名	福祉保健課	0	4	1	0	0
		2	医療的ケア等を必要とする障がい児への支援	県内の市町と情報共有等の検討の場を設けている	県内の市町と情報共有等の検討の場を設けている	福祉保健課	0	4	1	0	0
	(3)障がい者の社会参加の促進	1	情報提供、移動支援、コミュニケーション支援等の充実	町内外9箇所の事業所に業務委託し、地域生活支援事業(移動支援・日中一時支援等)を実施。また社会参加促進事業補助金として免許取得費・自動車改造費の補助を実施。	町内外9か所の事業所に業務委託し、地域生活支援事業(移動支援・日中一時支援等)を実施。また社会参加促進事業補助金として免許取得費・自動車改造費の補助を実施。	福祉保健課	0	4	1	0	0
		2	障がい者団体の育成と活動への支援	障害者スポーツ大会開催に対する補助金の支給。町社会福祉協議会に委託し実施。	障害者スポーツ大会開催に対する補助金の支給。町社会福祉協議会に委託し実施。	福祉保健課	0	4	1	0	0

②健康・福祉のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		主担当課	計画達成 (報告委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
		3	雇用の場の確保に向けた関係機関・団体、事業所との連携強化	相談から就労までのサポートを紀北地域障がい者就業・生活支援センター(尾鷲市社会福祉協議会内)が実施しており、連携を図っている。	相談から就労までのサポートを紀北地域障がい者就業・生活支援センター(尾鷲市社会福祉協議会内)が実施しており、連携を図っている。	福祉保健課	0	3	2	0	0
		4	事業所への各種制度の周知・啓発	紀北地域障がい者就業・生活支援センターを通して周知、啓発を行っている。	紀北地域障がい者就業・生活支援センターを通して周知、啓発を行っている。	福祉保健課	0	4	1	0	0
	(4)相互理解の促進	1	啓発活動の実施	紀北地域障がい者就業・生活支援センターを通して周知、啓発を行っている。	紀北地域障がい者就業・生活支援センターを通して周知、啓発を行っている。	福祉保健課	0	4	1	0	0
4. 地域福祉											
	(1)福祉意識の高揚と関係団体等の活動支援	1	福祉イベントの開催	新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、令和4年度においては、交流イベント等は行わなかった。	社会福祉協議会と協力し、障がい者と地域の人との交流の場として、ふれあいスポーツ大会の開催や、新たに障がい者芸術作品展を実施。	福祉保健課	2	3	0	0	0
		2	福祉教育の推進	新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、令和4年度においては、交流イベント等は行わなかった。	社会福祉協議会の地域福祉活動として、小学生を対象に社会福祉に関する実践学習の機会として車いす体験や高齢者疑似体験等とおして介助方法等の福祉教育を実施。また、車いすバスケットチームによる潮南中学校で体験会を実施。	福祉保健課	1	3	1	0	0
		3	社会福祉協議会の活動支援	社会福祉協議会へ運営費助成事業補助金 70,101千円。	社会福祉協議会へ運営費助成事業補助金 68,697千円。	福祉保健課	0	4	1	0	0
		4	民生委員・児童委員の活動支援	民生委員・児童委員協議会へ活動費補助金 600千円。	民生委員・児童委員協議会へ活動費補助金 850千円。	福祉保健課	0	4	1	0	0
		5	見守り活動・助け合い活動の活性化	社会福祉協議会や民生委員・児童委員、各種関係機関と連携し、高齢者訪問等の福祉活動を実施。 社会福祉協議会等の各種関係機関と連携し、世帯の抱える問題を把握し、必要としているサービスの提案・提供を行うなど地域住民への見守りを実施。	社会福祉協議会や民生委員・児童委員、各種関係機関と連携し、高齢者訪問等の福祉活動を実施。 社会福祉協議会等の各種関係機関と連携し、世帯の抱える問題を把握し、必要としているサービスの提案・提供を行うなど地域住民への見守りを実施。	福祉保健課	0	4	1	0	0
		6	福祉ボランティアの活動支援	社会福祉協議会のボランティアセンターを中心に、各種ボランティア講座や社会福祉活動に関わるボランティアグループの育成を実施。	社会福祉協議会のボランティアセンターを中心に、各種ボランティア講座や社会福祉活動に関わるボランティアグループの育成を実施。	福祉保健課	0	4	1	0	0
	(2)相談体制の充実と権利擁護の推進	1	相談窓口の周知	関係機関と連携して、相談窓口の周知を行っています。	関係機関と連携して、相談窓口の周知を行っています。	福祉保健課	0	4	1	0	0
		2	相談体制の充実	結に設置した基幹型相談支援センターにおいて相談体制の充実を図っています。	結に設置した基幹型相談支援センターにおいて相談体制の充実を図っています。	福祉保健課	0	4	1	0	0
		3	日常生活自立支援事業の利用促進	社会福祉協議会を通して利用促進を図っている。	社会福祉協議会を通して利用促進を図っている。	福祉保健課	0	5	0	0	0
		4	成年後見制度の利用促進	包括支援センターを中心に対象となる方に対して利用の促進を図っている。	包括支援センターを中心に対象となる方に対して利用の促進を図っている。	福祉保健課	0	4	0	1	0
		5	中核機関の設置検討	県と共同して設置に向けて検討している。	県と共同して設置に向けて検討している。	福祉保健課	0	3	1	1	0
	(3)人にやさしい環境整備の推進	1	道路や公共施設等のバリアフリー化	道路維持補修事業として町道赤羽大内山線側溝蓋修繕工事他47件を実施	道路維持補修事業として町道渡利引本線道路舗装工事他63件を実施	建設課	0	4	1	0	0
		2	思いやり駐車場の普及・周知	窓口にて思いやり駐車場についての普及・周知を行っている。	窓口にて思いやり駐車場についての普及・周知を行っている。	福祉保健課	0	4	1	0	0
5. 健康づくり・医療											
	(1)健康づくり意識の高揚と主体的活動の促進	1	広報・啓発活動の推進や教室・講座・イベントの開催	(福祉保健課) ・広報や行政放送に加えLINE、YouTubeなどのSNSを通じて、健康情報の提供や事業の周知を行ったり、健康に関する研修会を開催し、住民の健康に対する正しい知識の普及を図った。 (生涯学習課) ・広報や行政放送を通じて、紀北健康センター等の情報提供を実施	(生涯学習課) ・広報や行政放送を通じて、紀北健康センター等の情報提供を実施 (福祉保健課) ・広報や行政放送に加えLINE、YouTubeなどのSNSを通じて、健康情報の提供や事業の周知を行ったり、出前講座などにより住民の健康に対する正しい知識の普及を図った。	福祉保健課 生涯学習課	2	3	0	0	0
		2	「ちよい減らし +10(プラス・テン)チャレンジ」、「きほく活活体操」、「健康ウォーキング」などの普及	「ちよっとチャレンジ、ずっと健康」をキャッチフレーズとし、食事・運動の個々の体力や生活習慣に応じた目標を設定し、実践・継続をすることで、正しい生活習慣の定着を図った。達成者延べ682名(実人数425名)。また、「ちよい減らし+10チャレンジ」取組事業所に対し、チャレンジの実践と支援の他、職域における健康課題の解決に向け、健康出前講座を開催。「きほく活活体操」や「健康ウォーキング」については、健康づくりの有効な手段として、行政放送や教室等に加え、SNSを活用し幅広い年代の住民に対し、啓発を行った。	「ちよっとチャレンジ、ずっと健康」をキャッチフレーズとし、食事・運動の個々の体力や生活習慣に応じた目標を設定し、実践・継続をすることで、正しい生活習慣の定着を図った。達成者延べ636名(実人数402名)。また、「ちよい減らし+10チャレンジ」取組事業所に対し、チャレンジの実践と支援の他、職域における健康課題の解決に向け、健康出前講座を開催。「きほく活活体操」や「健康ウォーキング」については、健康づくりの有効な手段として、行政放送やイベント教室の開催等に加え、SNSを活用し幅広い年代の住民に対し、啓発を行った。	福祉保健課	1	4	0	0	0

②健康・福祉のまち部会			紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表										
施策 項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		実 施 内 容		主担当課	計画総本 (部会委員5名)				
				令和4年度	令和5年度	A	B		C	D	E		
		3	紀北健康センターの利用促進	(生涯学習課) 健康増進施設H29.11.1オープン ・R5年3月の実績 会員489人 利用者数 会員3,555人、ビジター168人、1日当り177.3人 レッスン 94回、501人参加 スイミングスクール 21回、709人参加	(生涯学習課) 健康増進施設H29.11.1オープン ・R6年3月の実績 会員511人 利用者数 会員3,910人、ビジター228人、1日当り214.6人 レッスン 87回、535人参加 スイミングスクール 20回、798人参加 (福祉保健課) 体力テストでPRブースを設置して啓発した。また出前講座や行政チャンネル「ワンポイントアドバイス」に紀北健康センター職員に出演することで、PRに努めた。	福祉保健課 生涯学習課	2	2	1	0	0		
		4	元気づくり推進員や食生活改善推進員等の活動支援	元気づくり推進員や食生活改善推進員に対し、自らの健康づくりの実践や地域住民への健康習慣の普及啓発のための研修や意見交換会を開催。また、地区活動においての相談も随時行った。	元気づくり推進員や食生活改善推進員に対し、自らの健康づくりの実践や地域住民への健康習慣の普及啓発のための研修や意見交換会を開催。また、地区活動においての相談も随時行った。	福祉保健課	1	2	2	0	0		
		5	住民主体の通いの場の支援	高齢者が心身の健康を保持するために住民が主体となって身近なところで気軽に集える住民主体の通いの場の支援を実施。	高齢者が心身の健康を保持するために住民が主体となって身近なところで気軽に集える住民主体の通いの場の支援を実施。	福祉保健課	1	3	1	0	0		
	(2)生活習慣病予防と重症化防止の推進	1	各種健康診査やがん検診の実施	21歳から39歳で職場等で健診を受ける機会のない人を対象に若者健診を実施。65名受診。また、がん検診の他、特定健診などすべての検診をでまとめて受診できる「みんなでいこか！総合けんしん」を開催。年間6日間実施した。延5,583名受診。	21歳から39歳で職場等で健診を受ける機会のない人を対象に若者健診を実施。79名受診。また、がん検診の他、特定健診などすべての検診をでまとめて受診できる「みんなでいこか！総合けんしん」を開催。年間6日間実施した。延5,623名受診。	福祉保健課	2	3	0	0	0		
		2	対象者への重症化防止のための事後指導	国保特定健診受診者に対し、結果説明会を開催。また、国保特定健診の結果、要注意者に対して、慢性腎臓病の原因である高血圧や糖尿病等の生活習慣病を予防・改善をするため、保健指導を行った。	国保特定健診受診者に対し、結果説明会を開催。また、国保特定健診の結果、要注意者に対して、慢性腎臓病の原因である高血圧や糖尿病等の生活習慣病を予防・改善をするため、保健指導を行った。	福祉保健課	1	3	1	0	0		
		3	未受診者等への受診勧奨	検診未受診者に対しは、受診勧奨通知を送付した。また、精密検査未受診者に対し、電話等を行い、受診勧奨を行った。	検診未受診者に対しは、受診勧奨通知を送付した。また、精密検査未受診者に対し、電話等を行い、受診勧奨を行った。	福祉保健課	1	3	1	0	0		
		4	健康相談や健康教育の実施	糖尿病や慢性腎不全などの生活習慣病を予防・重症化を予防するため、健康相談や健康教育を実施した。	糖尿病や慢性腎不全などの生活習慣病を予防・重症化を予防するため、健康相談や健康教育を実施した。	福祉保健課	0	3	2	0	0		
	(3)こころの健康づくりの推進	1	こころの健康についての知識の普及	9月を自殺予防週間、3月自殺対策強化月間に心の健康づくりをテーマに広報掲載し、情報提供を行った。	9月を自殺予防週間、3月自殺対策強化月間に心の健康づくりをテーマに広報掲載し、情報提供を行った。	福祉保健課	0	3	2	0	0		
		2	相談体制の充実	年間を通じてこころの健康相談を実施。	年間を通じてこころの健康相談を実施。	福祉保健課	0	3	2	0	0		
	(4)感染症予防対策の推進	1	感染症予防についての啓発	感染症等流行時には、広報や行政放送、防災行政無線を利用し、情報提供を行った。	感染症等流行時には、SNSを利用し、情報提供を行った。	福祉保健課	0	4	1	0	0		
		2	予防接種の接種勧奨	予防接種の未接種者に対し、はがきや電話連絡にて受診勧奨を行い、接種率の向上を図った。	予防接種の未接種者に対し、はがきや電話連絡にて受診勧奨を行い、接種率の向上を図った。	福祉保健課	1	3	1	0	0		
	(5)地域医療体制の充実	1	医療機関との連携強化	医療機関や医師会と連携し、地域医療体制の構築をを図った。	医療機関や医師会と連携し、地域医療体制の構築をを図った。	福祉保健課	1	3	1	0	0		
		2	かかりつけ医の普及	様々な事業の機会にかかりつけ医の普及を図った。	様々な事業の機会にかかりつけ医の普及を図った。	福祉保健課	1	2	2	0	0		
		3	救急医療体制の強化	安心して医療が受けられるよう、医療機関や医師会と連携し、救急医療体制の維持・充実を図っている。また、救急医療情報システムについて、訪問や健診等の機会に情報提供を行った。	安心して医療が受けられるよう、医療機関や医師会と連携し、救急医療体制の維持・充実を図っている。また、救急医療情報システムについて、訪問や健診等の機会に情報提供を行った。	福祉保健課	1	3	1	0	0		
6. 社会保障													
	(1)国民健康保険事業の推進	1	特定健康診査・特定保健指導の実施	受診料を無料化しての実施及び休日健診を継続して行った。	受診料を無料化しての実施及び休日健診を継続して行った。	住民課	2	2	1	0	0		
		2	受診率の向上施策の実施	庁舎内や出張所、病院にポスターを掲示し周知を行った。未受診者に対し、受診勧奨通知、継続受診のための通知を発送及び、窓口での随時の勧奨を行った。	庁舎内や出張所、病院にポスターを掲示し周知を行った。未受診者に対し、受診勧奨通知、継続受診のための通知を発送及び、窓口での随時の勧奨を行った。	住民課	0	4	1	0	0		
		3	講演会・健康教室の開催	福祉保健課と連携して特定健診の結果説明を個別で行った。	福祉保健課と連携して特定健診の結果説明を個別で行った。	住民課	0	3	2	0	0		
		4	国保健康づくり事業での大学との連携強化	集団健診の場で福祉保健課と連携して順天堂大学の隠れ肥満に関するアンケート調査を実施した。	国保担当のみでの実施は困難であるため、庁内の健康づくり関係担当と連携し、大学を巻き込んだ事業について検討する。	住民課	0	2	3	0	0		
	(2)後期高齢者医療制度の円滑な運営	1	後期高齢者医療制度の円滑な運営	窓口や電話など随時で制度や不明点について説明を行った。	窓口や電話など随時で制度や不明点について説明を行った。	住民課	1	2	2	0	0		
		2	広報等による制度周知	広報きほくなどによる周知を行い、随時説明を行った。	広報きほくなどによる周知を行い、随時説明を行った。	住民課	1	3	1	0	0		

②健康・福祉のまち部会			紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表										
施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		実 施 内 容		主担当課	計画達成 (部会委員5名)				
				令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
	(3)介護保険制度の推進	1	介護保険事業の適正な運営	紀北広域連合にて介護保険業務を実施。町の窓口で申請及び相談業務を行い、適切な周知を行うとともに、地域包括支援等の関係機関に繋げ、必要な支援が受けられるよう調整を行った。		紀北広域連合にて介護保険業務を実施。町の窓口で申請及び相談業務を行い、適切な周知を行うとともに、地域包括支援等の関係機関に繋げ、必要な支援が受けられるよう調整を行った。		福祉保健課	1	3	0	1	0
		2	地域包括支援センターの強化	紀北広域連合と連携して地域包括支援センターの機能強化を図った。		紀北広域連合と連携して地域包括支援センターの機能強化を図った。		福祉保健課	2	2	1	0	0
	(4)国民年金制度の啓発	1	国民年金の広報・啓発活動の充実	加入時に納付制度の説明を行った。		加入時に納付制度の説明を行った。		住民課	1	3	1	0	0
		2	相談体制の充実	加入時に年金に関する説明及び相談を行った。		加入時に年金に関する説明及び相談を行った。		住民課	1	3	1	0	0
	(5)生活保護世帯への支援	1	関係機関と連携した相談・指導の強化	紀北福祉事務所、町社会福祉協議会、県社会福祉協議会と連携し、金銭的な援助や就労支援、相談業務等を実施。		紀北福祉事務所、町社会福祉協議会、県社会福祉協議会と連携し、金銭的な援助や就労支援、相談業務等を実施。		福祉保健課	0	4	1	0	0
		2	生活困窮者への支援	紀北福祉事務所、町社会福祉協議会、県社会福祉協議会と連携し、金銭的な援助や就労支援、相談業務等を実施。		紀北福祉事務所、町社会福祉協議会、県社会福祉協議会と連携し、金銭的な援助や就労支援、相談業務等を実施。		福祉保健課	0	4	1	0	0

③産業のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		主担当課	計画結果 (部会委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
基本目標3 魅力と活力ある産業のまち											
1. 農業											
	(1)農業生産基盤の強化	1	中核的農業者への農地集積の促進	農地中間管理機構を利用した農地集積を促進し、町内の中核的農業者への農地集積を実施した。(小山において農業経営基盤強化促進法に基づく利用権1件を設定した)	農地中間管理機構を利用した農地集積を促進し、町内の中核的農業者への農地集積を実施した。(R5実績 農業経営基盤強化促進法に基づく利用権5件を設定した)	農林水産課	2	1	1	0	0
		2	農業経営の改善への支援	農山漁村振興交付金を活用した民間業者の施設建設(低コスト耐候性ハウス)への支援を行った。	農山漁村振興交付金を活用した民間業者の施設建設(低コスト耐候性ハウス)への支援を行った。	農林水産課	1	2	1	0	0
		3	高収益農業に向けた生産基盤の整備	・中里地区で農地中間管理機構関連農地整備事業を実施し、高収益作物への転換を促進している。(R4年度は、県営工事により、ほ場南側の区画整理、パイプライン及びポンプ施設を整備した) ・中山間地域総合整備事業紀北Ⅱ期地区の県主体による、老朽化した生産基盤施設の更新や修繕の測量試験や工事を実施した。	・中山間地域総合整備事業紀北Ⅱ期地区の県主体による、老朽化した生産基盤施設の更新や修繕の測量試験や工事を実施した。	農林水産課	2	1	1	0	0
		4	農業用施設の維持管理への支援	中山間地域総合整備事業紀北Ⅱ期地区(県主体)により、老朽化した生産基盤施設の更新や修繕を実施。	中山間地域総合整備事業紀北Ⅱ期地区(県主体)により、老朽化した生産基盤施設の更新や修繕を実施。	農林水産課	2	1	1	0	0
		5	土地改良施設維持管理適正化事業による排水機場等の維持・修繕	土地改良施設維持管理適正化事業を活用し、町内6排水機場の適切な維持補修を実施した。【中里排水機場】	土地改良施設維持管理適正化事業を活用し、町内6排水機場の適切な維持補修を実施した。【船津川排水機場】	農林水産課	2	1	1	0	0
		6	農地海岸(和具の浜)の活用	令和2年度から農地海岸(和具の浜)を指定管理者制度に移行し、海水浴シーズン(7月～8月)以外の時期でも指定管理者による自主事業を実施し活用している。	令和2年度から農地海岸(和具の浜)を指定管理者制度に移行し、海水浴シーズン(7月～8月)以外の時期でも指定管理者による自主事業を実施し活用している。	農林水産課	2	0	2	0	0
	(2)後継者・担い手の育成	1	技術習得等への支援	相談者に対して、地域農政課及び農業改良普及センターと協力し支援を行っている。	相談者に対して、地域農政課及び農業改良普及センターと協力し支援を行っている。	農林水産課	0	2	2	0	0
		2	各制度の有効利用の指導	相談者に対して、地域農政課及び農業改良普及センターと協力し支援を行っている。	相談者に対して、地域農政課及び農業改良普及センターと協力し支援を行っている。	農林水産課	0	2	2	0	0
		3	就農希望者や研修生の受け入れ体制の整備	相談者に対して、地域農政課及び農業改良普及センターと協力し支援を行っている。	相談者に対して、地域農政課及び農業改良普及センターと協力し支援を行っている。	農林水産課	0	2	2	0	0
		4	定年退職後の非農業者への農業就業にかかる機会づくり	相談者に対して、地域農政課及び農業改良普及センターと協力し支援を行っている。	相談者に対して、地域農政課及び農業改良普及センターと協力し支援を行っている。	農林水産課	0	2	2	0	0
	(3)耕作放棄地対策の推進	1	利用意向調査の実施と整備計画の策定	利用意向調査の結果を踏まえ、中間管理機構を通した農地の借り手と貸し手のマッチングを推進した。	利用意向調査の結果を踏まえ、中間管理機構を通した農地の借り手と貸し手のマッチングを推進した。	農林水産課	0	1	3	0	0
		2	農地中間管理事業による農地集積	農地中間管理機構を利用した農地集積を促進し、町内の中核的農業者への農地集積を実施した。(小山において農業経営基盤強化促進法に基づく利用権1件を設定した)	農地中間管理機構を利用した農地集積を促進し、町内の中核的農業者への農地集積を実施した。(R5実績 農業経営基盤強化促進法に基づく利用権5件を設定した)	農林水産課	0	3	1	0	0
		3	都市農村交流に向けた農業体験での活用	和具の浜海水浴場等(農地海岸)を活用し、都市と農村の交流を促進した。	(農林水産課) ・和具の浜海水浴場等(農地海岸)を活用し、都市と農村の交流を促進した。	農林水産課	0	3	1	0	0
		4	景観作物の作付けによる景観整備	町内の中里地区において菜の花など栽培を実施している。	町内の中里地区において菜の花など栽培を実施している。	農林水産課	1	0	3	0	0
	(4)畜産の振興	1	施設の更新や近代化への支援	農業者からの相談があれば事業の内容などについて、聞き取りを実施している。	農業者からの相談があれば事業の内容などについて、聞き取りを実施している。	農林水産課	0	0	4	0	0
		2	家畜排せつ物の管理強化	必要に応じて立ち入り検査等を実施した。	必要に応じて立ち入り検査等を実施した。	農林水産課	0	2	2	0	0
	(5)農産物の特産品開発	1	農産物の特産品やPB商品の開発	・町内農産物加工業者(ニンニク)へ提供するための耕作地拡大のための支援を実施した。(利用権設定)	相談者に対して、地域農政課及び農業改良普及センターと協力し相談を行っている。	農林水産課	2	0	2	0	0
		2	6次産業化に向けた支援	町内業者のニンニクを原料とした6次産業化製品の生産に係る行政サイドからの支援策として、生産部分の規模拡大に対し支援を実施した。	相談者に対して、地域農政課及び農業改良普及センターと協力し相談を行っている。	農林水産課	1	1	2	0	0
		3	農業産品を利用した特産品の開発支援	町内業者のニンニクを原料とした6次産業化製品の生産に係る行政サイドからの支援策として、生産部分の規模拡大に対し支援を実施した。	相談者に対して、地域農政課及び農業改良普及センターと協力し相談を行っている。	農林水産課	1	1	2	0	0
	(6)安全・安心への取り組み	1	「みえの安心食材」、「GAP認証制度」の普及促進	温州ミカン等の果物では古里道瀬地区の生産者の多数が認定を受けており、野菜でも多品種で認定を受けている生産者も存在する。今後も県と共同しGAP認証取得等と併せて生産者に制度の紹介を推進する。 (みえの安心食材:個人12、団体6、GAP認定:団体1)	温州ミカン等の果物では古里道瀬地区の生産者の多数が認定を受けており、野菜でも多品種で認定を受けている生産者も存在する。今後も県と共同しGAP認証取得等と併せて生産者に制度の紹介を推進する。 (みえの安心食材:個人12、団体6、GAP認定:団体1)	農林水産課	2	1	1	0	0
		2	トレーサビリティシステムの導入促進	一部の農業者は、地域内の消費者に向けて、生産者の顔が見える取引引きを実施しており、行政としては、「みえの安心食材」の更なる普及促進を行っている。	一部の農業者は、地域内の消費者に向けて、生産者の顔が見える取引引きを実施しており、行政としては、「みえの安心食材」の更なる普及促進を行っている。	農林水産課	2	0	2	0	0

③産業のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容	実 施 内 容	主担当課	計画総額 (部会委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
		3	生産者と消費者の交流促進	・地域の小学生を対象とした農業体験を実施した。(参加者は児童26名、保護者24名、合計50名)	・地域の小学生を対象とした農業体験を実施した。(参加者は児童35名、保護者20名、合計55名)	農林水産課	3	0	1	0	0
		4	減農薬、減化学肥料作物の受注生産の支援	相談者に対して、地域農政課及び農業改良普及センターと協力し支援を行っている。	相談者に対して、地域農政課及び農業改良普及センターと協力し支援を行っている。	農林水産課	0	1	3	0	0
		5	地産地消の推進(直売するシステムの確立、学校給食の食材への導入、地元食品加工業者への材料供給)	・一部農業者の農業産品は、既に地域内流通で大きな収益を得ている。 ・行政としては、引き続き農業産品の高付加価値も含めた地産地消モデルについて、農業者と共同で検討していく。	・一部農業者の農業産品は、既に地域内流通で大きな収益を得ている。 ・行政としては、引き続き農業産品の高付加価値も含めた地産地消モデルについて、農業者と共同で検討していく。	農林水産課	0	2	2	0	0
	(7)有害鳥獣対策の推進	1	防護柵設置や駆除等への助成	・町単の電柵等補助金の活用(R4実績は16件、785千円)し、獣害対策を行った。 ・三重県猟友会紀北支部猟友会員28名が駆除した、イノシシ172頭、シカ553頭、サル47頭について、駆除報償費を支払った。(6,638千円) ・有害鳥獣駆除(イノシシ172頭、シカ553頭、サル47頭)を実施した三重県猟友会紀北支部に対して、町単独事業で団体への補助を実施した。(905千円) ・集落支援員2名により、獣害の追い払いや捕獲等を実施した。	・町単の電柵等補助金の活用(R5実績は16件、793千円)し、獣害対策を行った。 ・三重県猟友会紀北支部猟友会員23名が駆除した、イノシシ124頭、シカ489頭、サル56頭について、駆除報償費を支払った。(5,912千円) ・有害鳥獣駆除(イノシシ124頭、シカ489頭、サル56頭)を実施した三重県猟友会紀北支部に対して、町単独事業で団体への補助を実施した。(905千円) ・集落支援員2名により、獣害の追い払いや捕獲等を実施した。	農林水産課	2	1	1	0	0
		2	被害防止研修等の実施	集落支援員による被害のあった農業者に対して、獣害に対するアドバイスなどを行った。	集落支援員による被害のあった農業者に対して、獣害に対するアドバイスなどを行った。	農林水産課	1	1	2	0	0
		3	集落支援員によるパトロールの強化	集落支援員による獣害の追い払いや捕獲等を積極的に実施した。	集落支援員による獣害の追い払いや捕獲等を積極的に実施した。	農林水産課	2	0	2	0	0
2. 林業											
	(1)森林整備の推進	1	スマート林業の推進	・積極的な導入に向けて、三重広域連携スーパーシティ協議会の地域産業活性化分科会に参加するなど、関係各所と協議を実施している。	・積極的な導入に向けて、三重広域連携スーパーシティ協議会の地域産業活性化分科会に参加するなど、関係各所と協議を実施している。	農林水産課	2	1	1	0	0
		2	低コスト造林、広葉樹林の整備及び獣害対策の推進	・獣害柵の新設1,493m(6箇所)を実施した私有林に対し、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、事業費の一部を助成した。(858千円)	・獣害柵の新設3,726m(7箇所)及び修繕19m(2箇所)を実施した私有林に対し、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、事業費の一部を助成した。(2,528千円)	農林水産課	2	1	1	0	0
		3	森林環境譲与税を用いた森林経営管理の推進	・森林GISシステムの保守業務(本庁・支所 220千円) ・森林環境譲与税を活用し、三浦・小山浦地区で境界明確化業務を実施した。(214.69ha) ・山林所有者等に対し今後の管理に関する意向調査を実施した。 (対象数)所有者83名、筆数196筆、面積40.79ha (回答数)所有者54名、筆数126筆、面積22.44ha ・森林整備を目的として、48.03haの面積測量を実施した。	・森林GISシステムの保守業務(本庁・支所 220千円) ・森林環境譲与税を活用し、古里・馬瀬地区で境界明確化業務を実施した。(213.51ha) ・山林所有者等に対し今後の管理に関する意向調査を実施した。 (対象数)所有者121名、筆数273筆、面積110.33ha (回答数)所有者82名、筆数188筆、面積82.06ha ・森林整備を目的として、35.64haの面積測量を実施した。 ・町と協定を締結した民有林において、間伐作業を行った(22.33ha)(新)	農林水産課	2	1	1	0	0
		4	保安林の指定	・治山事業を実施する箇所について、三重県にて保安林の指定を行った。	・治山事業を実施する箇所について、三重県にて保安林の指定を行った。	農林水産課	1	2	1	0	0
		5	治山事業の推進	・各地区の要望等を取りまとめ、三重県へ治山事業実施を要望した。その結果、11箇所の治山工事が採択された。 ・治山事業施工に伴い土地使用承諾が必要な場合は、町においても交渉などを行った。	・各地区の要望等を取りまとめ、三重県へ治山事業実施を要望した。その結果、7箇所の治山工事が採択された。 ・治山事業施工に伴い土地使用承諾が必要な場合は、町においても交渉などを行った。	農林水産課	2	1	1	0	0
	(2)林業経営基盤の整備	1	林道の新設、維持管理	・林道の復旧(土砂撤去等)や支障木伐採を実施。(2,809千円) ・林道野又越線及び江竜線除草業務。(550千円) ・林道便石線整備工事。(6,307千円) ・林道此ヶ野向井山線舗装工事。(1,659千円) ・林道野又越線法面修繕工事測量設計業務。(1,892千円) ・林道野又越線修繕工事。(5,340千円) ※R5へ繰越 ・林道橋梁点検・健全性評価業務。(5,742千円) ・森林組合おわせが実施した、林道4路線(組合管理)の修繕等に対し、民有林道等維持管理事業補助金を助成。(2,781千円)	・林道の復旧(土砂撤去等)や支障木伐採を実施。(1,354千円) ・林道野又越線及び江竜線除草業務。(605千円) ・林道此ヶ野向井山線舗装修繕工事。(770千円) ・林道下曽黒線舗装工事。(8,752千円) ・林道大名倉線舗装工事。(6,141千円) ・林道中の谷線舗装工事。(4,703千円) ・林道向井牛場線舗装工事。(5,700千円) ※R6へ繰越 ・林道野又越線法面修繕工事。(31,132千円) ・林道野又越線修繕工事。(17,988千円) ・林道橋梁(鋼橋)塗膜調査業務。(1,375千円) ・林道野又越線修繕工事(9,069千円) ※R4繰越分 ・森林組合おわせが実施した、林道11路線(組合管理)の修繕等に対し、民有林道等維持管理事業補助金を助成。(3,709千円)	農林水産課	2	0	2	0	0
		2	山林境界の明確化	・森林環境譲与税を活用し、三浦・小山浦地区で境界明確化業務を実施した。(214.69ha)	・森林環境譲与税を活用し、古里・馬瀬地区で境界明確化業務を実施した。(213.51ha)	農林水産課	2	1	1	0	0

③産業のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策 項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		主担当課	計画額 (部会委員5名)				
				令和4年度			令和5年度				
		3	森林管理の効率化	・森林環境譲与税を活用し、境界明確業務及び面積調査業務を実施することにより、所有者や境界が不明確であった民有林を洗い出し、適切な森林管理を進める体制を確保している。	・森林環境譲与税を活用し、境界明確業務及び面積調査業務を実施することにより、所有者や境界が不明確であった民有林を洗い出し、町と協定を締結した私有林の森林整備(間伐)を行うなど、適切な森林管理を進める体制を確保している。	農林水産課	1	2	1	0	0
		4	効率的な施業体制の確立	・町内任意団体が実施する除伐について森林・山村多面的機能発揮対策交付金による助成を行った。(100千円)	・町内任意団体が実施する自伐について森林・山村多面的機能発揮対策交付金による助成を行った。(100千円)	農林水産課	1	1	2	0	0
		5	新規就業者の育成	・町内の事業所において、2名の新規就業者を確保した。	・林業担い手確保等支援事業補助金(新)により、2名の林業インターンを受け入れ、うち1名が就業につながった。 ・町内の事業所において、1名の新規就業者を確保した。 ・地域おこし協力隊(やましごとインターンコーディネーター)を雇用し、林業インターンの募集や受け入れを行う体制を整えた。(R6.6就任)(新)	農林水産課	2	1	1	0	0
		6	人材の育成	・2名の職員がみえ森林・林業アカデミーの各講座を受講した。また、他の市町職員と交流も深め、森林・林業に関するスキルアップを図った。 ・みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、4校(相賀小、船津小、上里小、矢口小)が山林現場での森林環境教育活動を実施した。 ・1団体(上里子ども会)で森林環境教育活動を実施し、その活動経費を助成した。(71千円)	・1名の職員がみえ森林・林業アカデミーの各講座を受講した。また、他の市町職員と交流も深め、森林・林業に関するスキルアップを図った。 ・みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、2校(紀北中、三船中)が山林現場での森林環境教育活動を実施した。 ・1校(東小)で森林環境教育活動を実施し、その活動経費を助成した。(395千円) ・林業安全対策等支援事業費補助金(新)により、林業従事者の安全な労働環境の確保と雇用の安定を図った。(488千円) ・林業技術向上等支援事業費補助金(新)により、林業従事者の雇用の安定を図り、適切な森林整備の推進を図った。(69千円)	農林水産課	2	1	1	0	0
	(3)地元材の利活用の促進とブランド化	1	公共建築物等の木造化・木質化	・森林環境譲与税を財源として、紀北町産のFSC認証ヒノキ材を使用し、上里集会所建設事業(17,161千円)、中学校生徒用机購入92脚(3,412千円)、道の駅海山修繕工事(261千円)を整備。	・森林環境譲与税を充当して、紀北町産のFSC認証ヒノキ材を使用し、中学校生徒用机購入97脚(3,926千円)を実施。 ・みえ森と緑の県民税基金を充当して、紀北町産のFSC認証ヒノキ材を使用し、紀伊長島幼稚園園床改修工事(1,651千円)、相賀小学校ウッドデッキ設置工事(20,356千円)を実施。 ・森林環境譲与税基金を充当して、紀北町産のFSC認証ヒノキ材を使用し、種まき権兵衛の里木橋架替工事(3,784千円)を実施。	農林水産課	2	0	2	0	0
		2	民間住宅等への地元材利用拡大	・木材の需要拡大及び地域経済の活性化を図ることを目的として、紀北町及び尾鷲市内で伐採された木材を町内の製材工場で加工した製材を主要部材に60%以上使用した床面積50㎡以上の木造住宅に対し木造住宅建築促進事業補助金を助成した。(町内建築1軒に対し補助額329千円)	・木材の需要拡大及び地域経済の活性化を図ることを目的として、紀北町及び尾鷲市内で伐採された木材を町内の製材工場で加工した製材を主要部材に60%以上使用した床面積50㎡以上の木造住宅に対し木造住宅建築促進事業補助金を助成した。(町内建築1軒に対し補助額274千円)	農林水産課	2	0	2	0	0
		3	販路組織の強化	・森林組合おわせ、尾鷲市、速水林業と共にグループ認証を受けたFSC認証にかかる年次監査を受けた。(1,021千円) ・尾鷲林政推進協議会が申請し商標登録がなされた「尾鷲ヒノキ」のマークを用いた商標シールを出荷する材に貼付することで、尾鷲ヒノキ材である事を明示し、地域材の付加価値を高めた木材販路の拡大に活かす取り組みを継続している。 ・令和元年度に尾鷲林政推進協議会が申請した「尾鷲ヒノキ」のマークが商標登録され、令和2年度からは、森林組合が実施した『味の素商品』、尾鷲ひのきプレカット協同組合が実施した『柱材(地元材のみ)』に尾鷲ヒノキマークをそれぞれ貼付し、地域材の付加価値を高めた木材販路の拡大に活かす取り組みを継続している。 ・町有林の施業において、間伐材の搬出が可能な箇所については、積極的に搬出を行った。(杉2.366㎡、桧269.912㎡)	・森林組合おわせ、尾鷲市、速水林業と共にグループ認証を受けたFSC認証にかかる年次監査を受けた。(791円) ・尾鷲林政推進協議会が申請し商標登録がなされた「尾鷲ヒノキ」のマークを用いた商標シールを出荷する材に貼付することで、尾鷲ヒノキ材である事を明示し、地域材の付加価値を高めた木材販路の拡大に活かす取り組みを継続している。 ・令和元年度に尾鷲林政推進協議会が申請した「尾鷲ヒノキ」のマークが商標登録され、令和2年度からは、森林組合が実施した『味の素商品』、尾鷲ひのきプレカット協同組合が実施した『柱材(地元材のみ)』に尾鷲ヒノキマークをそれぞれ貼付し、地域材の付加価値を高めた木材販路の拡大に活かす取り組みを継続している。 ・町有林の施業において、間伐材の搬出が可能な箇所については、積極的に搬出を行った。(杉0.48㎡、桧87.979㎡、その他4.844㎡) ・町有林から搬出した木材について、市場での販売時にFSCのスタンプを押印し、PRを行った。(新)	農林水産課	2	0	2	0	0
	(4)森林の活用	1	森林を有効活用するための整備	・町有林においては、36.24haの保育間伐を実施した。また、8.10haの利用間伐を実施し、杉2.366㎡、桧269.912㎡の木材を有効活用した。 ・分収造林地では、2団地で保育間伐(1.11ha)、除伐(13.01ha)を実施した。 ・みえ森と緑の県民税(連携枠・流域防災事業)を活用し、十須大野内地内において面積調査業務を実施した。(14.69ha)	・町有林においては、32.39haの保育間伐を実施した。また、2.99haの利用間伐を実施し、杉0.48㎡、桧87.979㎡、その他4.844㎡の木材を有効活用した。 ・分収造林地では、1団地で保育間伐(25.26ha)を実施した。 ・みえ森と緑の県民税(連携枠・流域防災事業)を活用し、十須大野内地内において間伐業務(14.69ha)を実施した。 ・森林環境譲与税を活用し、民有林の間伐整備(22.33ha)を実施した。(新) ・民有林造林事業費補助金(新)により、民有林整備に係る自己負担分の一部を補助し、森林整備を促進した。(19,358千円)	農林水産課	2	1	1	0	0

③産業のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策 項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		主担当課	計画結果 (部会委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
		2	ボランティア活動に対する支援	・1団体(ボランティア団体)が集落周辺森林(里山)整備事業として、登山道の整備や風倒木の伐採などを実施したことに対し、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、事業費の一部を助成した。(74千円) ・地元自治会により引本公園(引本浦側、渡利側)の遊歩道整備を実施した。(140千円) ・三菱重工との“企業の森活動”等については、新型コロナウイルスにより中止されていた分を含めて2回実施した。	・1団体(ボランティア団体)が集落周辺森林(里山)整備事業として、登山道の整備や風倒木の伐採などを実施したことに対し、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、事業費の一部を助成した。(130千円) ・地元自治会により引本公園(引本浦側、渡利側)の遊歩道整備を実施した。(140千円) ・三菱重工との“企業の森活動”について、1回実施し歩道や広場の整備を行った。	農林水産課	3	0	1	0	0
3. 水産業											
	(1)水産資源の確保	1	海の汚染防止	マダイ、トラフグ、アユ、稚エビ、アワビ、カサゴ、ヒラメの種苗放流の実施	マダイ、トラフグ、アユ、稚エビ、アワビ、カサゴ、ヒラメ、ナマコの種苗放流の実施	農林水産課	2	0	2	0	0
		2	人工漁礁の造成及び藻場造成事業	長島地区産地協議会によるアオリイカ産卵床設置	長島地区産地協議会によるアオリイカ産卵床設置	農林水産課	2	1	1	0	0
		3	浮き漁礁の造成	長島地区産地協議会による小型浮き漁礁設置	長島地区産地協議会による浮き漁礁設置	農林水産課	2	1	1	0	0
		4	定着性魚類漁場の造成	長島地区産地協議会によるアオリイカ産卵床設置	長島地区産地協議会によるアオリイカ産卵床設置	農林水産課	2	1	1	0	0
		5	魚介類及びのり養殖の振興	近代化資金利子補給補助金交付及び漁業共済赤潮特約事業補助金交付による支援	近代化資金利子補給補助金交付及び漁業共済赤潮特約事業補助金交付による支援	農林水産課	1	1	2	0	0
		6	食害生物の駆除	水産多面的機能発揮事業を活用しガンガゼ駆除の実施	水産多面的機能発揮対策事業の実施により食害生物であるガンガゼの駆除を行っている。	農林水産課	1	2	1	0	0
		7	新魚種養殖の取り組みの支援	三重県の普及員と相談しながら新魚種養殖の取り組んでいる。	三重県の普及員と相談しながら新魚種養殖の取り組んでいる。	農林水産課	1	2	1	0	0
		8	密漁対策への取り組みの支援	漁協が制作した密漁防止啓発看板を漁港内に設置し密漁防止に取り組んだ	漁業協同組合と協議し密漁対策として啓発看板などを設置している。	農林水産課	1	2	1	0	0
		9	養殖漁場の水質及び底質調査の実施	矢口漁港内において工事の影響を調査するため水質調査を実施した	海岸保全事業により矢口浦のあおさのり漁場の水質調査を行っている。	農林水産課	1	1	2	0	0
		10	技術指導者の配置など養殖技術の向上	三重県の普及員や大学教授等による技術相談等の実施	三重県の普及員や技術相談等の実施	農林水産課	0	2	2	0	0
		11	養殖量の適正化	近代化資金利子補給補助金交付及び漁業共済赤潮特約事業補助金交付による支援	三重県の普及員と調整しながら養殖量の適正化を図っている。	農林水産課	1	2	1	0	0
	(2)所得向上に向けた 施策の展開	1	漁獲物の高付加価値化・特産品化	水産振興補助金により活魚プロワやスカイタンクを整備し漁獲物の高付加活化を図った	水産振興補助金を活用し、市場設備の整備により高付加価値化を図っている。	農林水産課	1	2	1	0	0
		2	トレーサビリティの導入	漁業組合と協議を行い検討を行った。	漁業組合と協議を行い検討を行った。	農林水産課	1	1	2	0	0
		3	経営合理化への支援	漁業組合と協議を行い検討を行った。	漁業組合と協議を行い検討を行った。	農林水産課	1	1	2	0	0
		4	省力機器整備、情報機器整備、衛生的 共同加工場の整備	水産振興補助金により、魚市場水揚設備整備のための補助の実施	水産振興補助金により、各漁港施設の整備補助の実施。	農林水産課	1	2	1	0	0
		5	漁場管理体制の樹立と協業グループの 推進	漁業者の著しい減少による漁場の管理体制の見直し等の検討を実施	漁業者の著しい減少による漁場の管理体制の見直し等の検討を実施。	農林水産課	1	1	2	0	0
	(3)担い手の育成・組 織の強化	1	後継者・人材の確保・育成・定着支援	地元中学生を対象とした水産スクールの実施	地元中学生を対象とした水産スクールの実施。	農林水産課	2	1	1	0	0
		2	外国人漁業研修生の受け入れ支援	外国人漁業研修生受入対策事業への補助	外国人漁業研修生受入対策事業への補助(受入人数3名 300千円)	農林水産課	1	2	1	0	0
		3	三重外湾漁業協同組合への支援	市場販売手数料の引き下げのための支援等の協議及び検討の実施	水産振興補助金により、各漁港施設の整備補助の実施。	農林水産課	0	3	1	0	0
	(4)水産加工業の振興	1	中核的流通加工施設の活用	水産振興補助金により、魚市場水揚設備整備のための補助の実施	水産振興補助金により、魚市場水揚設備整備のための補助の実施	農林水産課	0	3	1	0	0
		2	水産物のブランド化	(商工観光課) ブランド開発推進支援事業(補助事業)が令和3年度に終了したため、紀北町主導で主 だった商品開発等を行っていないが、既存商品については事業者と供に新たな販路拡 大を目指す活動を続けていく。	(商工観光課) ブランド開発推進支援事業(補助事業)が令和3年度に終了したため、紀北町主導で主 だった商品開発等を行っていない。今後は産地協議会や商工会と連携のもと検討を 行っていきたい。	農林水産課 商工観光課	1	0	2	1	0
		3	流通加工体制の強化	産地協議会において流通加工体制の強化に係る助成金制度がある	産地協議会において流通加工体制の強化に係る助成金制度がある	農林水産課	0	2	2	0	0
	(5)漁港等の整備	1	漁港の修繕・バリアフリー化	水産振興補助金により、魚市場施設の修繕の実施	水産振興補助金により、各漁港施設の整備補助の実施。	農林水産課	0	3	1	0	0
		2	漁港海岸整備事業の実施	矢口漁港海岸施設整備事業や海野宮前川樋門整備の実施	矢口漁港海岸施設整備事業の実施	農林水産課	1	1	2	0	0
		3	員外船入港促進に向けた関連施設の整 備支援	員外船の入港を促進させるための協議・検討の実施	員外船の入港を促進させるための協議・検討の実施	農林水産課	1	1	2	0	0
		4	都市住民との交流促進に向けた施設整 備	都市部からの来町者に対し、さらなる衛生化を進める魚市場づくりの検討	都市部からの来町者が衛生化を進める魚市場する事ができる施設づくりの検討	農林水産課	1	0	3	0	0
		5	遊漁者の受け入れ体制の検討	きれいな漁港作りのため漁港清掃の実施を行っている	漁業組合と協議を行い検討した。	農林水産課	1	0	3	0	0

③産業のまち部会			紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表									
施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)	実 施 内 容		実 施 内 容		主担当課	計画科目 (部会委員5名)				
			令和4年度	令和5年度	A	B		C	D	E		
4. 商工業												
	(1)地場産業の振興	1	特産品「紀北もん」の開発・販売の促進	道の駅・始神テラス・VISON・ほか物産展等、事業者と供に新たな販路拡大を目指す活動を続けていく。	道の駅・始神テラス・VISON・ほか物産展等、事業者と供に新たな販路拡大を目指す活動を続けていく。	商工観光課	1	1	2	0	0	
		2	「始神テラス」をアンテナショップとして活用	「始神テラス」と連携し、オンラインショップ「キホクニヤ」によるネット通販を通じて地域内外への情報発信・PRを継続して行っている。	「始神テラス」と連携し、オンラインショップ「キホクニヤ」によるネット通販を通じて地域内外への情報発信・PRを継続して行っている。	商工観光課	2	1	1	0	0	
		3	きいながしま港市などの物販関連事業の支援	十分な感染症対策を施しつつ、令和3年度より規模を少し拡大して年末きいながしま港市を開催した。	一般的な感染症対策は継続しつつ、令和4年度より規模を少し拡大して年末きいながしま港市を開催した。	商工観光課	2	0	1	1	0	
		4	ふるさと納税制度の活用	町内事業者の地元産品をふるさと納税返戻品として活用している。	町内事業者の地元産品をふるさと納税返戻品として活用している。	商工観光課 財政課	3	0	1	0	0	
		5	水産加工業などの振興	年末きいながしま港市にて、事業者による地元産品の直接販売を行うことや、利用者が無料七輪ブースを活用し魚介類を直接味わうことでPRにつなげた。また、令和4年度は冷凍サーモンの詰め放題を実施した。	年末きいながしま港市にて、事業者による地元産品の直接販売を行うことや、利用者が無料七輪ブースを活用し魚介類を直接味わうことでPRにつなげた。また、令和4年度に引き続き冷凍サーモンの詰め放題を実施した。	商工観光課	1	1	2	0	0	
	(2)経営体制強化への支援	1	みえ熊野古道商工会と連携した経営技術の向上	みえ熊野古道商工会への補助金活用し、商工会主導のもと、商品知識、販売技術の習得、接遇の研修、経営の合理化、流通機構の情報収集、電子商取引の拡大、など商店の近代化による消費者ニーズに応じた商品づくり経営診断、事業主及び従業員の研修、金融対策など経営改善に対応する指導強化、事業計画の策定支援を行った。	みえ熊野古道商工会への補助金活用し、商工会主導のもと、商品知識、販売技術の習得、接遇の研修、経営の合理化、流通機構の情報収集、電子商取引の拡大、など商店の近代化による消費者ニーズに応じた商品づくり経営診断、事業主及び従業員の研修、金融対策など経営改善に対応する指導強化、事業計画の策定支援を行った。	商工観光課	3	0	1	0	0	
		2	先端設備等導入計画に基づく認定事業への支援	平成30年度に入ってから、「生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画」について国の同意を得て、「先端設備等導入促進計画」による認定を受けた業者が1業者有り、新技術導入に関しての補助を受けている。今後も新技術導入を含め、当該項目についての促進を図っていく。	平成30年度に入ってから、「生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画」について国の同意を得て、「先端設備等導入促進計画」による認定を受けた業者が令和5年度は1業者有り、新技術導入に関しての補助を受けている。今後も新技術導入を含め、当該項目についての促進を図っていく。	商工観光課	1	2	1	0	0	
		3	外国人技能実習生共同受入事業の支援	みえ熊野古道商工会への補助金活用し、商工会主導のもと、技能実習生に対して、実務実習、健康・生活全般に関する指導等を実施。また、新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン集団接種を実施。	みえ熊野古道商工会への補助金活用し、商工会主導のもと、技能実習生に対して、実務実習、健康・生活全般に関する指導等を実施。	商工観光課	2	1	1	0	0	
	(3)起業・創業支援と新規企業の立地促進	1	起業・創業への支援	・創業支援計画に基づいた相談件数 11件 ・これまで通り、アシスト保証事業やマル経融資等利子補給事業は継続中である。	創業支援計画に基づいた相談件数 15件 これまで通り、アシスト保証事業やマル経融資等利子補給事業は継続中である。	商工観光課	2	1	1	0	0	
		2	新規企業の立地促進・支援	・創業支援計画に基づいた相談件数 11件 ・これまで通り、アシスト保証事業やマル経融資等利子補給事業は継続中である。	創業支援計画に基づいた相談件数 15件 これまで通り、アシスト保証事業やマル経融資等利子補給事業は継続中である。	商工観光課	2	1	1	0	0	
5. 観光												
	(1)観光振興体制の強化	1	(一社)紀北町観光協会への支援・連携強化	・観光協会事業への積極的なサポートを行っている。	観光協会事業への積極的なサポートを行っている。	商工観光課	1	2	1	0	0	
		2	観光関連事業者への研修会等の実施	・東紀州地域振興公社が中心となり観光DMOを立ち上げ、研修会などを開催。また、観光協会でも実施。	東紀州地域振興公社が中心となり観光DMOを立ち上げ、研修会などを開催。また、観光協会でも実施。	商工観光課	1	2	1	0	0	
		3	紀北町観光サービスセンターの活用	・観光協会事業への積極的なサポートを行っている。	観光協会事業への積極的なサポートを行っている。	商工観光課	0	3	1	0	0	
		4	インバウンド対策の推進	・東紀州振興公社が行う研修会への参加。英語が話せる者を観光案内所に配置。	東紀州振興公社が行う研修会への参加。英語が話せる者を観光案内所に配置。	商工観光課	0	2	2	0	0	
		5	(一社)東紀州地域振興公社等との連携強化	・積極的な事業への参加、取り組みを行っている。	積極的な事業への参加、取り組みを行っている。	商工観光課	0	1	3	0	0	
	(2)世界遺産熊野古道を活用した観光・交流の促進	1	古道客の受け入れ体制の整備	・熊野古道パンフレットの刷新、増刷を行っている。	熊野古道パンフレットの刷新、増刷を行っている。	商工観光課	0	1	3	0	0	
		2	古道の整備と守る会など後継者の育成	古道の整備は各古道の会により実施	古道の整備は各古道の会により実施	生涯学習課	1	1	1	1	0	
		3	熊野古道世界遺産登録20周年事業の実施	・企画課を中心として、生涯学習課といった関係課と連携しながら検討中。	企画課を中心として、生涯学習課といった関係課と連携しながら準備検討中。	商工観光課	1	2	1	0	0	
		4	世界遺産熊野古道を活用した広域連携の推進	・東紀州振興公社を中心に、英語表記や案内表示についての統一化し、古道客の利便性の向上に努めている。	東紀州振興公社を中心に、英語表記や案内表示についての統一化し、古道客の利便性の向上に努めている。	商工観光課	2	1	1	0	0	
	(3)銚子川の魅力向上と周辺環境の保全	1	銚子川のブランド力の向上	・地域おこし協力隊によるツアー造成等などの取り組み。令和4年度においては、観光協会と連携しながらeーバイクを活用した商品開発を行っている。	地域おこし協力隊によるツアー造成等などの取り組み。令和5年度においては、観光協会と連携しながらeーバイクを活用した商品開発を行っている。	商工観光課	1	1	2	0	0	
		2	銚子川流域の交流施設・資源の整備	・令和4年度は権兵衛の里駐車場に駐車場システムを導入に、有料駐車場としての本格稼働となった。 ・種まき権兵衛の里の整備の充実、特に桜の季節には多くの来場者が訪れるようになってきている。	令和4年度に権兵衛の里駐車場に駐車場システムを導入し、有料駐車場としての本格稼働となった。 種まき権兵衛の里の整備の充実、特に桜の季節には多くの来場者が訪れるようになってきている。	商工観光課	2	0	1	1	0	

③産業のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		主担当課	計画結果 (報告委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
		3	通年的な体験メニューの充実	・eーバイクや、昔の衣装を着ての熊野古道散策など観光協会を中心に様々な体験メニューの造成に務めている。	eーバイクや、昔の衣装を着ての熊野古道散策など観光協会を中心に様々な体験メニューの造成に務めている。	商工観光課	0	2	2	0	0
		4	生態系・環境を学ぶ環境学習の実施	夏季期間中に取り組むことは難しく、時期をずらして9月に行った。今後の実施についても検討が必要である。	夏季期間中に取り組むことは難しく、今後の実施についても検討が必要である。	商工観光課	0	1	2	1	0
		5	水難事故防止対策の推進	・観光協会によるリスクマネジメント研修会等への参画。	観光協会によるリスクマネジメント研修会等への参画。	商工観光課	0	3	1	0	0
		6	ごみや路上駐車対策など銚子川の周辺環境の保全	・夏季の銚子川の駐車場、路上駐車、ゴミ・トイレ問題については、パトロール、徴収員・警備員の配置、看板・仮設トイレの設置などを行い、魚飛溪駐車場と権兵衛の里駐車場の夏季臨時有料駐車場を設けた。また、魚飛橋から種まき権兵衛の里付近までの路側帯へ駐禁テープやA型バリケートなどを活用して路上駐車対策を実施した。直火禁止の看板の設置等。 引き続き、路上駐車や環境保全等については、尾鷲建設事務所、尾鷲警察署と意見交換をして議論・検討を進めている。	夏季の銚子川の駐車場、路上駐車、ゴミ・トイレ問題については、パトロール、徴収員・警備員の配置、看板・仮設トイレの設置などを行い、魚飛溪駐車場と権兵衛の里駐車場の夏季臨時有料駐車場を設けた。また、魚飛橋から種まき権兵衛の里付近までの路側帯へ駐禁テープやA型バリケートなどを活用して路上駐車対策を実施した。直火禁止の看板の設置等。 引き続き、路上駐車や環境保全等については、尾鷲建設事務所、尾鷲警察署と意見交換をして議論・検討を進めている。	商工観光課	2	1	1	0	0
	(4)観光地としての魅力の向上	1	自然体験や地場産品加工体験のメニュー化	・観光協会を中心に取り組みを行っている。	・観光協会を中心に取り組みを行っている。	商工観光課	0	2	2	0	0
		2	特産品・土産品の開発	ブランド開発推進支援事業(補助事業)が令和3年度に終了したため、紀北町主導で主だった商品開発等を行っていない。今後は商工課と連携のもと検討を行っていきたい。	ブランド開発推進支援事業(補助事業)が令和3年度に終了したため、紀北町主導で主だった商品開発等を行っていない。今後は商工課と連携のもと検討を行っていきたい。	商工観光課	0	1	2	1	0
		3	海の幸・山の幸を素材にしたオリジナル料理の開発	ブランド開発推進支援事業(補助事業)が令和3年度に終了したため、紀北町主導で主だった商品開発等を行っていない。今後は商工課と連携のもと検討を行っていきたい。	ブランド開発推進支援事業(補助事業)が令和3年度に終了したため、紀北町主導で主だった商品開発等を行っていない。今後は商工課と連携のもと検討を行っていきたい。	商工観光課	0	1	2	1	0
		4	販売ラベル等の統一化・特徴化	ブランド開発推進支援事業(補助事業)が令和3年度に終了したため、紀北町主導で主だった商品開発等を行っていない。今後は商工課と連携のもと検討を行っていきたい。	ブランド開発推進支援事業(補助事業)が令和3年度に終了したため、紀北町主導で主だった商品開発等を行っていない。今後は商工課と連携のもと検討を行っていきたい。	商工観光課	0	0	3	1	0
		5	古里温泉の施設の整備充実	・2年に1度水中ポンプシステムの更新工事を実施。	2年に1度水中ポンプシステムの更新工事を実施。	商工観光課	0	3	1	0	0
		6	オートキャンプ場「キャンプinn海山」や体験型イベント交流施設「けいちゅう」の利用促進につながる企画や施設整備	「キャンプinn海山」については指定管理者と協議しながら施設整備を行っている。また指定管理者によるオリジナルのイベント開催や体験メニューの充実を図っている。「けいちゅう」についても、管理者と協議をしながら利用促進を図っている。	「キャンプinn海山」については指定管理者と協議しながら施設整備を行っている。また指定管理者によるオリジナルのイベント開催や体験メニューの充実を図っている。「けいちゅう」についても、管理者と協議をしながら利用促進を図っている。	商工観光課	0	2	2	0	0
		7	冬場の魚介類を活用した食のPR	年末さいながしま港市にて、事業者による地元産品の直接販売を行うことや、利用者が無料七輪ブースを活用し魚介類を直接味わうことでPRにつなげた。	年末さいながしま港市にて、事業者による地元産品の直接販売を行うことや、利用者が無料七輪ブースを活用し魚介類を直接味わうことでPRにつなげた。	商工観光課	0	2	2	0	0
		8	町内観光拠点等への2次交通の確保	おでかけ応援サービス「えがお」等をPRすることにより、観光拠点等への2次交通の確保を行った。	おでかけ応援サービス「えがお」等をPRすることにより、観光拠点等への2次交通の確保を行った。	企画課	1	1	1	1	0
	(5)情報発信の強化	1	(一社)紀北町観光協会と連携した観光PR活動の推進	・三重テラスでのイベント参加	三重テラスでのイベント参加	商工観光課	0	1	3	0	0
		2	地域振興施設等への観光案内人の配置と情報発信	・夏休みや繁忙期など案内人を配置して情報発信を行っている。	世界遺産登録20周年を迎えるにあたり、案内人を道の駅海山に配置して情報発信を行っている。	商工観光課	0	2	2	0	0
		3	観光マップの作成	・令和4年度においては、熊野古道マップの刷新、増刷を行った。	令和4年度において、熊野古道マップの刷新、増刷を行った。	商工観光課	1	1	2	0	0
		4	(一社)東紀州地域振興公社と連携した観光PR事業の充実	・新型コロナの影響により事業の展開は難しいところもあったが、今後も連携していく予定である。	今後も振興公社と連携を密にし、観光PRをしていく予定。	商工観光課	0	2	2	0	0
	(6)各種イベントの充実	1	自然体験型観光イベントや体験研修の充実	・観光協会と連携した取り組みを実施。	観光協会と連携した取り組みを実施。	商工観光課	1	2	1	0	0
		2	農林水産業と連携した産業体験イベントの充実	・地元ヒノキを使ったワークショップの開催	今後も地元ヒノキを使ったワークショップの開催をしていく予定。	商工観光課	1	2	1	0	0
		3	きほく燈籠祭をはじめとする各種イベントの支援	・補助金の交付、人的支援	補助金の交付、人的支援	商工観光課	3	0	1	0	0
	(7)熊野灘レクリエーション都市の活用	1	利用促進検討会への参加	令和5年度オープンに向けての協議等を行った	令和5年度7月オープンに向けての協議等を行った	建設課	1	1	2	0	0
		2	施設の適切な修繕、維持管理	[県]レク都市熊野灘臨海公園(城ノ浜地区)プール工事	[県]レク都市熊野灘臨海公園(城ノ浜地区)プール工事・オープン	建設課	2	0	2	0	0
		3	国道等広域交通体系の整備促進	紀勢自動車道建設促進三重県期成同盟による要望活動を行った	紀勢自動車道建設促進三重県期成同盟による要望活動を行った	建設課	1	1	2	0	0
6. 雇用・就労											

③産業のまち部会			紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表										
施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		実 施 内 容		主担当課	計画総額 (報告委員5名)				
				令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
	(1)若者の雇用の場の確保	1	若者の雇用の場の確保	・松阪以南16市町で構成される南三重地域就労対策協議会にて、就職マッチング支援サイト「南三重就活ナビ」の運用、令和4年度は高校生及びその保護者向けへの「南三重地域地元企業紹介動画」をyoutube配信を行った。 ・ハローワークを事務局とする紀北雇用開発会議にて、新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、ミニ就職面接会を実施 事業者31社に対し相談者数は42人		・松阪以南16市町で構成される南三重地域就労対策協議会にて、就職マッチング支援サイト「南三重就活ナビ」の運用、令和5年度は南三重地域の企業を紹介する動画を作成しYoutubeにて配信した。 ・ハローワークを事務局とする紀北雇用開発会議にて、対面での就職面接会を実施 令和5年度実績として、事業者26社に対し相談者数は32人内6人採用が決定した。		商工観光課	3	0	1	0	0
		2	新規事業者の育成	創業支援計画に基づいた相談件数 11件		創業支援計画に基づいた相談件数 15件		商工観光課	3	0	1	0	0
		3	農林水産業の就業体験や就業相談の実施	【林政係】 ・農林水産業就業フェアに森林組合おわせと参加し、5名の就業相談を受けた。		地元中学生を対象とした水産スクールの実施及び農林漁業就業就職フェア、漁業支援就業フェアに参加。		農林水産課	3	0	1	0	0
		4	産業の掘り起こしや育成	・創業支援計画に基づいた相談件数 11件 ・みえ熊野古道商工会への補助金活用し、商工会主導のもと、伴走型小規模事業者支援推進事業として、都市部における大規模商談会への出展支援等により、地域資源を活用した商品等の新たな需要拡大を図った。		・創業支援計画に基づいた相談件数 15件 ・みえ熊野古道商工会への補助金活用し、商工会主導のもと、伴走型小規模事業者支援推進事業として、都市部における大規模商談会への出展支援等により、地域資源を活用した商品等の新たな需要拡大を図った。		商工観光課	3	0	1	0	0
	(2)雇用の促進と働きやすい環境づくり	1	高齢者、女性、障がい者の雇用機会の確保	・ハローワークを事務局とする紀北雇用開発会議にて、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、ミニ就職面接会を実施 事業者31社に対し相談者数は42人		・ハローワークを事務局とする紀北雇用開発会議にて、対面での就職面接会を実施 令和5年度実績として、事業者26社に対し相談者数は32人内6人採用が決定した。		商工観光課	2	1	1	0	0
		2	ワーク・ライフ・バランスの啓発	三重県産業支援センター等の啓発物品等について、紀北町ホームページでの掲載や窓口での配布を行っている。		三重県産業支援センター等の啓発物品等について、紀北町ホームページでの掲載や窓口での配布を行っている。		商工観光課	1	2	1	0	0
		3	人材の定着・確保と雇用の促進	ハローワークを事務局とする紀北雇用開発会議にて、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、ミニ就職面接会を実施 事業者31社に対し相談者数は42人		・ハローワークを事務局とする紀北雇用開発会議にて、対面での就職面接会を実施 令和5年度実績として、事業者26社に対し相談者数は32人内6人採用が決定した。		商工観光課	1	2	1	0	0
	(3)起業・創業支援と企業誘致等の推進	1	起業・創業のための支援	創業支援計画に基づいた相談件数 11件		創業支援計画に基づいた相談件数 15件		商工観光課	3	0	1	0	0
		2	企業誘致の推進	紀北町ホームページに企業立地メニューを掲載し、国・県の関連情報、町の取り組みなどを発信し、企業誘致に取り組んでいる。		紀北町ホームページに企業立地メニューを掲載し、国・県の関連情報、町の取り組みなどを発信し、企業誘致に取り組んでいる。		企画課	0	1	3	0	0
		3	ワーケーションなどの誘致対策の検討	紀北町ホームページに企業立地メニューを掲載し、国・県の関連情報、町の取り組みなどを発信し、企業誘致に取り組んでいる。 他市町等の事例について、情報収集を行った。		紀北町ホームページに企業立地メニューを掲載し、国・県の関連情報、町の取り組みなどを発信し、企業誘致に取り組んでいる。 他市町等の事例について、情報収集を行った。		企画課	1	0	3	0	0

④教育・文化・協働のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策 項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		主担当課	計画結果 (報告委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
基本目標4 心豊かに夢を育む教育・文化のまち											
1. 幼児教育											
	(1)幼児教育環境の充 実	1	研修等による指導体制の充実	尾鷲市・紀北町の幼稚園、学校関係者で組織する紀北教育研究会幼稚園部会・幼児教育部会で実践交流を行っている。 中学校区を単位とした幼・小・中連絡会の幼小部会で公開保育、公開授業を実施。	尾鷲市・紀北町の幼稚園、学校関係者で組織する紀北教育研究会幼稚園部会・幼児教育部会で実践交流を行っている。 中学校区を単位とした幼・小・中連絡会の幼小部会で公開保育、公開授業を実施。	学校教育課	2	3	0	0	0
		2	一時預かり保育の実施	一時預かり保育について、随時対応可能な体制を整備している	一時預かり保育について、随時対応可能な体制を整備している	学校教育課	3	2	0	0	0
		3	幼稚園・保育所と小学校との連携強化	保幼小連絡会の実施。幼保広域研修会の実施(尾鷲市との合同)	保幼小連絡会の実施。幼保広域研修会の実施(尾鷲市との合同)	学校教育課	2	3	0	0	0
		4	防災訓練・教育、交通安全・防犯教室の 充実	月に1回程度、いろいろなケースを想定した防災訓練、防災教育を実施している。	月に1回程度、いろいろなケースを想定した防災訓練、防災教育を実施している。	学校教育課	2	3	0	0	0
		5	家庭、地域との連携強化	*	植栽、農作物の育成についての指導、読み聞かせの実施、熊野古道などの自然体験、 地域の方々との合同避難訓練を実施している。	学校教育課	2	3	0	0	0
		6	給食費の支援	令和元年10月より、全員を対象とした給食費全額補助を実施している。	全員を対象とした給食費全額補助を実施している。	学校教育課	5	0	0	0	0
	(2)幼稚園施設の整備	1	幼稚園施設の定期点検	必要に応じて、自主点検を行っている。	必要に応じて、自主点検を行っている。	学校教育課	3	1	1	0	0
		2	幼稚園施設の修繕・改修	必要に応じて、修繕・改修を行っている。	必要に応じて、修繕・改修を行っている。	学校教育課	3	1	1	0	0
2. 学校教育											
	(1)学校教育の充実	1	教育内容の充実	「生きる力」を支える「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和を重視した教育 の実現するために、学力向上、生徒指導、ICT教育、道徳教育、外国語教育、体力向 上、特別支援教育、人権教育、健康教育、防災教育などを推進し、教育内容の充実を 図っている。	「生きる力」を支える「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和を重視した教育 の実現するために、学力向上、生徒指導、ICT教育、道徳教育、外国語教育、体力向 上、特別支援教育、人権教育、健康教育、防災教育などを推進し、教育内容の充実を 図っている。	学校教育課	2	3	0	0	0
		2	教職員の資質の向上	学校の要望に応じた指導主事による校内研修及び指導の実施。県指定、町指定校によ る研修及び研修会の実施。紀北教育研究所主催の研修会への参加。	学校の要望に応じた指導主事による校内研修及び指導の実施。県指定、町指定校によ る研修及び研修会の実施。紀北教育研究所主催の研修会への参加。	学校教育課	2	3	0	0	0
		3	地域に開かれた学校づくりの推進	総合的な学習の時間等において地域講師として教育活動に参加(農作物の栽培、環境 学習、平和学習等)。また子ども支援ネットワークの構築による、地域住民の児童生徒と の交流の充実を図った。また、赤羽小中学校において、コミュニティスクールを導入し、 地域の方々为学校経営への参画など開かれた学校づくりに取り組んだ。	総合的な学習の時間等において地域講師として教育活動に参加(農作物の栽培、環境 学習、平和学習等)。また子ども支援ネットワークの構築による、地域住民の児童生徒と の交流の充実を図った。また、赤羽小中学校において、コミュニティスクールを導入し、 地域の方々为学校経営への参画など開かれた学校づくりに取り組んだ。	学校教育課	2	3	0	0	0
		4	特別支援教育の充実	介助教員、介助員の適切な配置を行い、教育をサポートしている。	介助教員、介助員の適切な配置を行い、教育をサポートしている。	学校教育課	2	3	0	0	0
		5	ALT増員による英語教育の充実	ALTを2人から4人に増員し、英語教育に力を入れている。	ALT4人で英語教育に力を入れている。	学校教育課	3	2	0	0	0
		6	キャリア教育の推進	小中高を通じて、学習活動の状況やキャリア教育形成の記録を保管しておく、「キャリア パスポート」を活用し、職場体験、自然体験などの体験学習や卒業生や地域の人による 講話などに取り組んでいる。	小中高を通じて、学習活動の状況やキャリア教育形成の記録を保管しておく、「キャリア パスポート」を活用し、職場体験、自然体験などの体験学習や卒業生や地域の人による 講話などに取り組んでいる。	学校教育課	2	3	0	0	0
		7	ICT機器を活用した授業の推進	児童生徒用1人1台パソコンの整備及び校内LANの環境整備を行い、令和3年度から本 格始動している。	児童生徒用1人1台パソコンの整備及び校内LANの環境整備を行い、令和3年度から本 格始動している。	学校教育課	3	1	1	0	0
		8	郷土産業学習や自然体験学習の充実	各学校において、職場体験、稲作体験、植樹体験、水産(加工)体験、稚魚放流体験等 の郷土産業に関する体験学習、見学等を行っている。	各学校において、職場体験、稲作体験、植樹体験、水産(加工)体験、稚魚放流体験等 の郷土産業に関する体験学習、見学等を行っている。	学校教育課	4	1	0	0	0
		9	心の問題に対する相談・指導の充実	あおさぎ教室(不登校等対応)を尾鷲市と合同で設置し、問題に対応している。また、随 時関係機関(福祉保健課、児童相談所等)とケース会議も行っている。	あおさぎ教室(不登校等対応)を尾鷲市と合同で設置し、問題に対応している。また、随 時関係機関(福祉保健課、児童相談所等)とケース会議も行っている。	学校教育課	2	3	0	0	0
		10	スクールカウンセラーによる相談	4つの中学校区を拠点として、8つの小学校に配置し、月に1～4回の教育相談を行っ ている。	4つの中学校区を拠点として、8つの小学校に配置し、月に1～4回の教育相談を行っ ている。	学校教育課	2	3	0	0	0
	(2)学校施設・設備の 充実	1	学校の適正規模・適正配置の検討	構想に基づき、児童生徒数が30人を下回る学校には、毎年、生徒の推移見込み等、説 明会を開催している。	構想に基づき、児童生徒数が30人を下回る学校には、毎年、生徒の推移見込み等、説 明会を開催している。	学校教育課	1	3	1	0	0
		2	老朽化や情報化に対応した施設・設備の 整備	必要に応じて、修繕・改修を行っている。	必要に応じて、修繕・改修を行っている。	学校教育課	0	3	2	0	0

④教育・文化・協働のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		主担当課	計画結果 (部会委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
		3	学校図書の充実	町費図書購入費による児童生徒用図書及び教師用図書を購入した。標準図書冊数に達していない学校には上乗せして配当し、図書の充実を図った。町内4中学校に図書館司書を配置し、学校図書館の環境を整備するとともに、ライブラリークエスト等図書館を活用した授業の実施。	町費図書購入費による児童生徒用図書及び教師用図書を購入した。標準図書冊数に達していない学校には上乗せして配当し、図書の充実を図った。町内4中学校に図書館司書を配置し、学校図書館の環境を整備するとともに、ライブラリークエスト等図書館を活用した授業の実施。	学校教育課	2	3	0	0	0
		4	スクールバスの運行	スクールバス5台を運用している。	スクールバス5台を運用している。	学校教育課	3	2	0	0	0
	(3)子どもの安全の確保	1	防災訓練の実施	月に1回、いろいろなケースを想定した防災訓練、防災教育を実施している。	必要に応じて警察による防犯に関する講演を実施している。 夏休み前などの節目において非行等についての指導の機会を設けている。	学校教育課	2	3	0	0	0
		2	防犯訓練の実施及び安全指導	必要に応じて警察による防犯に関する講演を実施している。 夏休み前などの節目において非行等についての指導の機会を設けている。	防災訓練や防災教育と共に、随時防犯訓練等を行っている。	学校教育課	2	3	0	0	0
		3	交通安全対策の実施	防災訓練や防災教育と共に、随時防犯訓練等を行っている。	防災訓練や防災教育と共に、随時防犯訓練等を行っている。	学校教育課	2	3	0	0	0
		4	スクールガード協議会の活動支援	ベストや帽子、旗等の支給および見守り活動の際の保険に加入している。	腕章等の支給および見守り活動の際の保険に加入している。	学校教育課	3	2	0	0	0
	(4)食育の推進と学校給食の充実	1	食育の推進	給食や家庭科の授業を通して食育の大切さを指導している。 三重地物一番給食の日の実施。12月、1月、2月に紀北町産米の導入予定。 新型コロナウイルス対策の地元事業者支援施策として、地元産マダイなどの食材を使用した	給食や家庭科の授業を通して食育の大切さを指導している。 地元食材活用支援事業の予算を使い、地元事業者支援施策として、地元産トマトやさつまいも等の野菜、卵、生節などの食材を使用した給食を提供し、児童、生徒に伝えている。	学校教育課	3	2	0	0	0
		2	安全・安心な学校給食の提供	調理室内の衛生管理や異物混入の危険を防ぐため、老朽化した厨房機器・設備等の更新を行っている。アレルギーを持つ児童への対応として、国が推奨している基準をもとに、学校給食における食物アレルギー対応についてのマニュアルを作成し、食物アレルギーへの取組を行っている。	調理室内の衛生管理や異物混入の危険を防ぐため、老朽化した厨房機器・設備等の更新を行っている。アレルギーを持つ児童への対応として、国が推奨している基準をもとに、学校給食における食物アレルギー対応についてのマニュアルを作成し、食物アレルギーへの取組を行っている。	学校教育課	4	1	0	0	0
		3	多子世帯への学校給食費の支援	第三子以降の子の給食費(小・中)の全額を補助している。幼稚園については、令和元年10月より、全員に対して給食費全額補助を開始した。 令和4年度4月から3月まで、給食費全額補助(小・中)を実施した。	第三子以降の子の給食費全額補助(小・中・幼)、第二子の給食費半額補助(幼稚園児のみ)を継続実施中。令和元年10月より、幼稚園については、全員給食費全額補助を開始した。 小・中学校については令和5年度7月から3月まで、給食費全額補助を実施した。	学校教育課	5	0	0	0	0
	(5)奨学金貸与制度の継続と充実	1	奨学金貸与制度の継続と内容検討	制度は継続し、国・県・他市町村の状況の情報収集を行った。	制度は継続し、国・県・他市町村の状況の情報収集を行った。	学校教育課	1	4	0	0	0
3. 社会教育・青少年健全育成											
	(1)学習環境の充実	1	各種講座の充実	■公民館講座 令和4年度 48講座 延べ参加者数2,428人 ・書道・生け花・絵画・DIY・バランスボール・編み物・太極拳 ・デジカメ・ギター・ポッチャ・ユニカール・そば打ち・ヨガほか ■生涯学習講座 令和4年度実績 6講座 延べ参加者数 410人 ・エンジョイセカンドラフ・フラワーアレンジメント教室・筆ペンボールペン講座・ふるさと探訪・東紀州の草木と樹木・よくわかる郷土史	■公民館講座 令和5年度 48講座 延べ参加者数2,575人 ・書道・生け花・絵画・DIY・バランスボール・編み物・太極拳 ・デジカメ・ギター・ポッチャ・そば打ち・ヨガほか ■生涯学習講座 令和5年度実績 6講座 延べ参加者数 572人 ・エンジョイセカンドラフ・フラワーアレンジメント教室・筆ペンボールペン講座・ふるさと探訪・東紀州の草木と樹木・よくわかる郷土史	生涯学習課	1	4	0	0	0
		2	生涯学習情報の提供	■パソコン教室 令和4年度 10講座 延べ参加者数 33人 ■高齢者スマホ相談会の実施	■パソコン教室 令和5年度 6講座 延べ参加者数 30人 ■高齢者スマホ相談会の実施 令和5年度 延べ参加者数 105人	生涯学習課	3	2	0	0	0
		3	大学と協働した講義等の開催	コロナウイルス感染症拡大防止のため、大学との調整を行う事ができなかった。感染症流行時におけるZoomでの講義や、通信形式で受講可能な講座等を検討して行くとともに、受け入れ可能な大学の調査を行っていく。	コロナウイルス感染症拡大防止のため、大学との調整を行う事ができなかった。三重県生涯学習センターや大学などに問い合わせし情報収集を行い、実施につなげていきたい。	生涯学習課	0	1	4	0	0
	(2)自主的な学習活動の支援	1	自主学習活動の支援	・公民館講座等の開講による指導者の育成と確保の推進(全13館、48講座 延べ参加者数 2,428人) ・自主サークルへの施設提供(56団体) ・町PTA連絡協議会の活動 ・町婦連の活動 ・町子連の活動	・公民館講座等の開講による指導者の育成と確保の推進(全13館、48講座 延べ参加者数 2,575人) ・自主サークルへの施設提供(57団体) ・町PTA連絡協議会の活動 ・町婦連の活動 ・町子連の活動	生涯学習課	2	3	0	0	0
		2	図書の充実	・図書の購入による蔵書の充実	・図書の購入による蔵書の充実	生涯学習課	3	2	0	0	0
		3	読書活動の充実	・読み聞かせ教室の開催 海山図書室 5回 56人(大人17人、児童生徒39人) 相賀幼稚園 10回 117人(大人42人、園児75人)	・読み聞かせ教室の開催 海山図書室10回 37人(大人16人、児童生徒21人) 相賀幼稚園 7回 133人(大人42人、園児91人)	生涯学習課	2	3	0	0	0

④教育・文化・協働のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		主担当課	計画結果 (報告委員5名)						
									A	B	C	D	E
				令和4年度	令和5年度								
		4	社会教育施設の整備	・東長島公民館 雨水排水ます取替及び舗装工事 ・東長島公民館 非常用発電機取替工事		・東長島公民館移動観覧席修繕工事	生涯学習課	2	2	1	0	0	
	(3) 青少年活動の促進	1	青少年育成団体の活動支援	・青少年育成団体活動の支援 (青少年育成連絡会議、PTA連絡協議会、子ども会、スポーツ少年団) ・各種団体との連携強化 ・教育講演会(青少協と町Pの共催) ・青少年育成連絡会議と警察署との情報交換(防犯パトロール・講和) ・地域行事の参加(虫おくり・町民駅伝大会)		・青少年育成団体活動の支援 (青少年育成連絡会議、PTA連絡協議会、子ども会、スポーツ少年団) ・各種団体との連携強化 ・教育講演会(青少協と町Pの共催) ・青少年育成連絡会議と警察署との情報交換(防犯パトロール・講和) ・地域行事の参加(虫おくり・町民駅伝大会)	生涯学習課	2	3	0	0	0	
		2	「いきいき子ども学園」の開設	令和4年度実績 紀伊長島:土曜日18講座 水曜日13講座 延べ参加人数573人 海山 :土曜日14講座 水曜日16講座 延べ参加人数603人		令和5年度実績 紀伊長島:土曜日・夏休み16講座 水曜日12講座 延べ参加人数656人 海山 :土曜日・夏休み17講座 水曜日13講座 延べ参加人数726人	生涯学習課	4	1	0	0	0	
	(4) 青少年育成環境の整備	1	防犯パトロールの実施	・警察署、防犯協会と連携し、夜間パトロールを実施 R4中止		・警察署、防犯協会と連携し、夜間パトロールを実施	生涯学習課	3	2	0	0	0	
		2	社会環境の浄化	・紀州児童相談所と連携し、有害図書等環境パトロール(書店・刃物販売店・カラオケ店等を巡回)を実施 R3中止		・紀州児童相談所と連携し、有害図書等環境パトロール(書店・刃物販売店・カラオケ店等を巡回)を実施 R5中止	生涯学習課	1	1	3	0	0	
		3	教育講演会の開催	・町PTA連絡協議会の活動(教育講演会開催:池上彰氏 R5.1.29)		・町PTA連絡協議会の活動(教育講演会開催:内村周子氏 R6.3.10)	生涯学習課	4	0	1	0	0	
4. スポーツ													
	(1) スポーツ活動の普及促進	1	スポーツに親しむ環境づくり	・町民の健康保持と体力向上のための紀北健康スポーツクラブを開催 ・連絡調整会議の開催 ■開催実績 【一般】・エアロビクス、バランスボール、ハタヨガフロー、シェイプアップ、グラウンドゴルフ大会(年4回開催) 【児童・生徒】紀北AC、ダンス、ソフトテニス		・町民の健康保持と体力向上のための紀北健康スポーツクラブを開催 ・連絡調整会議の開催 ■開催実績 【一般】・エアロビクス、バランスボール、ハタヨガフロー、シェイプアップ、グラウンドゴルフ大会(年4回開催) 【児童・生徒】紀北AC、ダンス、ソフトテニス	生涯学習課	4	1	0	0	0	
		2	権兵衛の故郷走ろう大会や町民駅伝大会等の内容充実	■大会等活動実績 ・紀北いきいきカップ(60歳以上のグラウンドゴルフ大会)の開催 ・権兵衛の故郷走ろう大会の開催 ・紀北町民駅伝大会の開催 ・陸上記録会の支援(人的支援及び経費補助)		■大会等活動実績 ・紀北いきいきカップ(60歳以上のグラウンドゴルフ大会)の開催 ・権兵衛の故郷走ろう大会の開催 ・紀北町民駅伝大会の開催 ・陸上記録会の支援(人的支援及び経費補助)	生涯学習課	3	2	0	0	0	
		3	各種スポーツ団体・クラブの活動支援	・中学生以下の選手指導団体への使用料免除 ・各種団体主催大会への後援 ・スポーツ交流補助金事業の実施		・中学生以下の選手指導団体への使用料免除 ・各種団体主催大会への後援 ・スポーツ交流補助金事業の実施	生涯学習課	4	1	0	0	0	
		4	スポーツ推進委員の確保・育成	・令和4年度のスポーツ推進員数は8人 ・スポーツ委員研修会等への参加 ・町スポーツ事業への助言及び協力		・令和5年度のスポーツ推進員数は8人 ・スポーツ委員研修会等への参加 ・町スポーツ事業への助言及び協力	生涯学習課	3	0	2	0	0	
		5	スポーツ安全保険への加入促進	・スポーツ安全保険加入について広報きほくに記事掲載		・スポーツ安全保険加入について広報きほくに記事掲載	生涯学習課	4	0	1	0	0	
	(2) 競技スポーツの推進とスポーツ大会の誘致	1	スポーツ団体が開催する大会への支援	・スポーツ交流推進事業補助金 5チーム以上の大会開催に対する支援 ■実績 令和4年度 ソフトボール 海山カップ【小学生】 サッカー 黒潮カップ【小学生】 ソフトバレーボール 2団体【一般】		・スポーツ交流推進事業補助金 5チーム以上の大会開催に対する支援 ■実績 令和5年度 ソフトボール 海山カップ【小学生】 ソフトバレーボール 2団体【一般】	生涯学習課	4	1	0	0	0	
		2	全国大会等に出場する選手への支援	・全国大会・東海大会等選手派遣補助金 全国大会・東海大会等へ出場する選手の旅費の一部を支援 ■実績 令和4年度 35名		・全国大会・東海大会等選手派遣補助金 全国大会・東海大会等へ出場する選手の旅費の一部を支援 ■実績 令和5年度 42名	生涯学習課	4	1	0	0	0	
		3	競技大会における成績優秀者の表彰や顕彰	・県大会優勝もしくは東海大会・全国大会で極めて顕著な成績を挙げた方へのスポーツ賞の表彰の実施、5月広報へ掲載 優秀賞(空手1、水泳2、バスケットボール1) スポーツ賞団体(バスケットボール1) スポーツ賞個人(空手5、水泳10、バスケットボール4、陸上2、サッカー1) ・平成27年度より、本庁1階ロビーに成績優秀者を掲示し、顕彰を行っている。		・県大会優勝もしくは東海大会・全国大会で極めて顕著な成績を挙げた方へのスポーツ賞の表彰の実施、5月広報へ掲載 優秀賞(水泳2、陸上1) スポーツ賞個人(空手4、水泳20) ・平成27年度より、本庁1階ロビーに成績優秀者を掲示し、顕彰を行っている。	生涯学習課	4	0	1	0	0	

④教育・文化・協働のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容	実 施 内 容	主担当課	計画結果 (報告委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
		4	スポーツ選手等による講習会・講演会の開催	・JAFこころのプロジェクト「夢の教室」を実施 ■実績 中学2年及び小学5年対象で町内全学校で実施	・JAFこころのプロジェクト「夢の教室」を実施 ■実績 中学2年及び小学5年対象で町内全学校で実施	生涯学習課	4	1	0	0	0
		5	美し国三重市町対抗駅伝大会への参加	・美し国三重市町対抗駅伝大会への参加と協力	・美し国三重市町対抗駅伝大会への参加と協力	生涯学習課	3	1	1	0	0
		6	大規模なスポーツ大会の誘致	■実績 令和4年度 ・第68回全日本総合男子ソフトボール選手権大会	■実績 令和5年度 ・三重県小学生男子ソフトボール大会、全日本小学生ソフトボール大会予選会、中日本総合男子ソフトボール選手権大会(小学生の部)予選会など	生涯学習課	3	2	0	0	0
	(3)スポーツ施設の維持・整備	1	スポーツ施設の適正な維持管理	・定期的に点検しメンテナンスを実施	・定期的に点検しメンテナンスを実施	生涯学習課	3	2	0	0	0
		2	県営スポーツ施設の活用	・管理許可を受けている大白公園多目的グラウンドの適正な運営 ・城ノ浜フィットネスホール等を合宿等で活用	・管理許可を受けている大白公園多目的グラウンドの適正な運営 ・城ノ浜フィットネスホール等を合宿等で活用	生涯学習課	2	2	1	0	0
		3	スポーツ施設等に設置されたAEDの適正な維持管理	令和4年度に5年の債務負担行為でリース契約を締結	令和4年度に5年の債務負担行為でリース契約を締結	生涯学習課	3	1	1	0	0
	(4)スポーツ合宿の拡大	1	様々な媒体を活用した情報発信の強化	・町ホームページに「紀北町でスポーツしよう!」を開設し、合宿に関する情報を発信 ・合宿雑誌、旅行会社の検索サイトに、当町のスポーツ合宿の広告を掲載	・町ホームページに「紀北町でスポーツしよう!」を開設し、合宿に関する情報を発信 ・合宿雑誌、旅行会社の検索サイトに、当町のスポーツ合宿の広告を掲載	生涯学習課	3	2	0	0	0
		2	県内外での誘致活動	・「きほくスポーツキャンプ・合宿ガイド」を作成し、県内外の大学高校に配布し誘致活動を実施	・「きほくスポーツキャンプ・合宿ガイド」を作成し、県内外の大学高校に配布し誘致活動を実施	生涯学習課	3	2	0	0	0
		3	合宿受け入れ体制の充実	・紀北町観光協会と連携してスポーツ施設や宿泊施設、弁当、自然体験などの予約を一元化し、最適な合宿プランを提供 ・スポーツ合宿の実績 ■実績 平成24年度 074団体 3,150泊 平成25年度 093団体 4,378泊 平成26年度 098団体 4,763泊 平成27年度 134団体 5,881泊 平成28年度 119団体 5,365泊 平成29年度 110団体 4,392泊 平成30年度 116団体 4,503泊 令和01年度 105団体 4,316泊 令和02年度 034団体 997泊 令和03年度 034団体 1,090泊 令和04年度 045団体 1,073泊	・紀北町観光協会と連携してスポーツ施設や宿泊施設、弁当、自然体験などの予約を一元化し、最適な合宿プランを提供 ・スポーツ合宿の実績 ■実績 平成24年度 074団体 3,150泊 平成25年度 093団体 4,378泊 平成26年度 098団体 4,763泊 平成27年度 134団体 5,881泊 平成28年度 119団体 5,365泊 平成29年度 110団体 4,392泊 平成30年度 116団体 4,503泊 令和01年度 105団体 4,316泊 令和02年度 034団体 997泊 令和03年度 034団体 1,090泊 令和04年度 045団体 1,073泊 令和05年度 106団体 3,033泊	生涯学習課	2	3	0	0	0
		4	町営施設使用料の免除や県営施設使用料の町負担	・町内に宿泊して合宿や大会を行った団体に対し、スポーツ施設使用料を免除	・町内に宿泊して合宿や大会を行った団体に対し、スポーツ施設使用料を免除	生涯学習課	2	3	0	0	0
5. 文化・芸術											
	(1)文化・芸術活動の推進	1	芸術・文化団体等の活動及び芸術・文化展や芸能大会等の開催支援	・文化のタベ(中止) ・芸能のタベ(中止) ・紀伊長島地区公民館合同作品展の開催(3/11-12) ・海山公民館公民館講座作品展(3/11-12) ・引本公民館文化展(中止) ・船津公民館講座作品展	・文化のタベ開催(9/24)12団体出演 ・芸能のタベ開催(10/14)6団体出演 ・海山支部町民文化展開催(10/27-29) ・紀伊長島支部町民文化展開催(11/3-5)	生涯学習課	2	2	0	1	0
		2	演奏会、演芸会、美術展、講演会等の企画・開催	・夏の楽しいジャズ祭(6/30) ・池上彰氏講演会(1/29) ・ミュージカル「星の絆」(長島地区小学校)(2/14) ・ミュージカル「星の絆」(海山地区学校)(2/15) ・ものまねライブ(2/25)	・夏の楽しいジャズ祭開催(7/27) ・内村周子氏講演会開催(3/10) ・ミュージカル「あらしのよるに」開催(海山地区学校 2/15) (長島地区小学校 2/21) ・ウェイウェイ・ウーコンサート開催(6/4) ・岸谷香コンサート開催(10/1)	生涯学習課	2	3	0	0	0
	(2)世界遺産熊野古道の保存と継承	1	熊野古道の保存と継承	・熊野古道保全団体への支援及び現地調査による活動 ・熊野参詣道伊勢路環境保全指導委員によるパトロール活動 ・町内企業等による熊野古道保全事業	・熊野古道保全団体への支援及び現地調査による活動 ・熊野参詣道伊勢路環境保全指導委員によるパトロール活動 ・町内企業等による熊野古道保全事業	生涯学習課	1	4	0	0	0
		2	熊野古道に対する理解の促進	・各小・中学校における熊野古道での野外活動(R4実施なし) ・熊野古道に関する講演に実施(社会教育振興大会 R5.1.22)	・各小・中学校における熊野古道での野外活動	生涯学習課	1	4	0	0	0

④教育・文化・協働のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策 項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		主担当課	計画結果 (報告委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
		3	熊野古道の維持・保全	・熊野古道保全団体への支援及び現地調査による活動 ・パトロール員(保全団体)によるパトロールの実施	・熊野古道保全団体への支援及び現地調査による活動 ・パトロール員(保全団体)によるパトロールの実施	生涯学習課	1	3	1	0	0
		4	熊野古道世界遺産登録20周年事業の実施	・企画課、商工観光課、生涯学習課による準備委員会の設立	・きほく古道まつり開催(始神峠)4/6	生涯学習課	2	3	0	0	0
	(3)文化財の保護と活用	1	文化財や埋蔵文化財の適切な保存	・文化財調査委員会の開催による意見徴収、保存活動の実施 ・パトロール員(保全団体)による古道パトロールの実施	・文化財調査委員会の開催による意見徴収、保存活動の実施 ・パトロール員(保全団体)による古道パトロールの実施	生涯学習課	1	3	0	0	1
		2	歴史資料や文化財の収集・調査研究	・文化財調査委員会の開催による意見徴収、保存活動の実施	・文化財調査委員会の開催による意見徴収、保存活動の実施	生涯学習課	2	2	0	0	1
		3	郷土資料館の収蔵物の保存	・文化財調査委員会の開催による意見徴収、保存活動の実施 ・郷土資料館職員による管理	・文化財調査委員会の開催による意見徴収、保存活動の実施 ・郷土資料館職員による管理	生涯学習課	2	2	1	0	0
		4	児童生徒の郷土学習での活用	・社会化事業での両郷土資料館への児童の受け入れ ・郷土資料館だよりの発行 ・郷土資料館特別展	・社会化事業での両郷土資料館への児童の受け入れ ・郷土資料館だよりの発行 ・郷土資料館特別展	生涯学習課	2	1	1	1	0
		5	伝統芸能や伝統行事等への支援	・新型コロナウイルス感染症による開催中止(便ノ山神楽)	・便ノ山神楽舞保存会補助支援	生涯学習課	3	0	1	1	0
基本目標5 とともに担う参画と協働のまち											
1. 協働のまちづくり											
	(1)住民参画の充実	1	委員会や審議会の委員の一般公募	委員会や審議会の運営に際し、委員の一般公募を検討している。	委員会や審議会の運営に際し、委員の一般公募を検討している。	企画課	2	3	0	0	0
		2	パブリックコメントの実施	「紀北町パブリックコメント手続実施要綱」(H27.4.1施行)に基づき、町の基本的な制度を定める条例の制定時などにパブリックコメントを実施する体制を整えている。	「紀北町パブリックコメント手続実施要綱」(H27.4.1施行)に基づき、町の基本的な制度を定める条例の制定時などにパブリックコメントを実施する体制を整えている。	企画課	2	3	0	0	0
		3	行事等の企画・運営等への住民参画の促進	コミュニティ助成事業の活用等を広報して、文化行事、イベント、祭りなどへの活用を促し、住民参画・協働の促進に努めた。	コミュニティ助成事業の活用等を広報して、文化行事、イベント、祭りなどへの活用を促し、住民参画・協働の促進に努めた。	企画課	1	3	1	0	0
	(2)広報・広聴活動、情報公開の充実	1	広報紙の充実	全ページフルカラーで写真やイラストなどを多用し視覚的により見やすく、また健診や生活にかかわる各課からのおしらせなどをわかりやすく伝えられるように心がけた。	全ページフルカラーで視覚的により見やすく、また健診や生活にかかわる各課からのおしらせなどをわかりやすく伝えられるように心がけた。	企画課	3	2	0	0	0
		2	ホームページの充実	職員対象にホームページ編集の研修会を開催し、町内外の方に伝えたい情報やイベント、健診のおしらせなど、正確に分かりやすいページ作りに努めた。	町内外の方に伝えたい情報やおしらせなど、正確に分かりやすいページ作りに努めた。また令和6年度のリニューアルに向けた調査も行った。	企画課	2	2	1	0	0
		3	SNSの活用	行政放送内容の案内だけでなく、イベントや行事の開催情報・結果を掲載した。	イベントや行事の開催情報・結果を掲載した。	企画課	3	2	0	0	0
		4	行政報告会の開催	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とし、行政報告会用資料を各区長に送付、および本庁と海山総合支所の窓口に設置した。	4地区で行政報告会を開催した。	企画課	1	4	0	0	0
		5	行政連絡会の開催	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としたが、今後新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み実施について検討していく。(三重県、尾鷲市、紀北町で開催)	コロナ禍以降実施できていないが、	企画課	1	0	4	0	0
		6	出前トークの開催	広報6月号に実施について掲載し、小学校や自治会などで開催した。	広報6月号に掲載し、小学校や民間事業者などで開催した。	企画課	2	2	1	0	0
		7	各種アンケートの実施	庁舎内に設置している意見箱「みんなの声」で意見の聴取を行った。	庁舎内に設置している意見箱「みんなの声」で意見の聴取を行った。	企画課	1	4	0	0	0
		8	ホームページを活用した意見聴取	ホームページ内の「ご意見・ご要望」で意見を聴取し担当課へ内容をメールで送った。	ホームページ内の「ご意見・ご要望」で意見を聴取し担当課へ内容をメールで送った。	企画課	2	2	1	0	0
		9	まちづくり協議会との意見交換	第3次委員との意見交換会を令和4年5月に実施。第4次委員を選任し、3回協議会を開催した。	令和5年度については、3回協議会を開催した。	総務課	2	2	1	0	0
		10	情報公開制度の適切な運用	情報公開の実施状況を毎年広報きほくで公表している(令和4年度受付件数236件)。審査請求は0件。	情報公開の実施状況を毎年広報きほくで公表している(令和5年度受付件数303件)。審査請求は1件。	総務課	2	3	0	0	0
	(3)住民団体、ボランティア等の育成・支援	1	ボランティア活動等への支援	多様なまちづくり団体の自主的な活動を高めるため、「地域づくり活動支援事業補助金」を交付している。(交付実績5団体)	多様なまちづくり団体の自主的な活動を高めるため、「地域づくり活動支援事業補助金」を交付している。(交付実績5団体)	企画課	2	2	1	0	0
		2	参加しやすい環境づくり	「地域を元気にするグループ100秒PR」等、行政放送を利用した団体の情報発信を行っている。また、町内イベントへの協力・参加を促す記事を広報誌に掲載している。	「地域を元気にするグループ100秒PR」等、行政放送を利用した団体の情報発信を行っている。また、町内イベントへの協力・参加を促す記事を広報誌に掲載している。	企画課	2	2	1	0	0
		3	ボランティアのマッチング	マッチング手法や他市町の事例等について、情報収集を行った。	マッチング手法や他市町の事例等について、情報収集を行った。	企画課	1	3	1	0	0
2. コミュニティ活動											

④教育・文化・協働のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		主担当課	計画結果 (報告委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
	(1)コミュニティ意識の高揚	1	広報・啓発活動の実施	まちづくり団体の自主的な活動を高めるため、広報きほくで自らの力で取り組む団体を支援するための「地域づくり活動支援事業補助金」の周知を図っている。	まちづくり団体の自主的な活動を高めるため、広報きほくで自らの力で取り組む団体を支援するための「地域づくり活動支援事業補助金」の周知を図っている。	企画課	3	1	1	0	0
		2	情報提供や地域リーダーの育成	・コミュニティ助成事業の活用等を広報して、文化行事、イベント、祭りなどへの活用を促し、住民参画・協働の促進に努めた。 ・尾鷲高校で、尾鷲市、三重大学と連携して「まちいく」を実施し、将来の地域を担う高校生が地域の課題や取り組みを知り、考える機会を作った。 ・本町でいきいきと働きながら充実した余暇を送っている方を特集した「仕事カード」を作成し、中高生や成人に配布、SNSで閲覧してもらうことで、将来町に戻るきっかけとし、次世代の地域を担う人材を育成する事業に取り組んでいる。	・コミュニティ助成事業の活用等を広報して、文化行事、イベント、祭りなどへの活用を促し、住民参画・協働の促進に努めた。 ・尾鷲高校で、尾鷲市、三重大学と連携して「まちいく」を実施し、将来の地域を担う高校生が地域の課題や取り組みを知り、考える機会を作った。 ・本町でいきいきと働きながら充実した余暇を送っている方を特集した「仕事カード」を作成し、中高生や成人に配布、SNSで閲覧してもらうことで、将来町に戻るきっかけとし、次世代の地域を担う人材を育成する事業に取り組んでいる。	企画課	2	2	1	0	0
	(2)地域活動の活性化支援	1	地域づくり活動支援事業補助金の交付	多様なまちづくり団体の自主的な活動を高めるため、「地域づくり活動支援事業補助金」を交付している。(交付実績5団体)	多様なまちづくり団体の自主的な活動を高めるため、「地域づくり活動支援事業補助金」を交付している。(交付実績5団体)	企画課	2	1	2	0	0
		2	行政放送を活用した団体活動のPR	「地域を元気にするグループ100秒PR」等、行政放送を利用した団体の情報発信を行っている。また、町内イベントへの協力・参加を促す記事を広報誌に掲載している。	「地域を元気にするグループ100秒PR」等、行政放送を利用した団体の情報発信を行っている。また、町内イベントへの協力・参加を促す記事を広報誌に掲載している。	企画課	2	1	2	0	0
		3	きほくファミラボの充実	若い世代の結婚、出産、子育ての希望がかなう地域づくりに向けたポータルサイト「きほくファミラボ」を公開。	若い世代の結婚、出産、子育ての希望がかなう地域づくりに向けたポータルサイト「きほくファミラボ」を公開。	福祉保健課	1	2	2	0	0
		4	自治会活動の支援	防災に関する講演会を行う等、支援を行った。	災害廃棄物対策の講演会を行うにあたり、日程調整など支援を行った。	住民課	0	5	0	0	0
		5	集会所等の整備・支援	自治会活動の拠点として管理運営している自治会に5万円の交付金の支援。(交付金申請のあった自治会へ交付を行った。) 上里集会所の建替を行った。	自治会活動の拠点として管理運営している自治会に5万円の交付金の支援。(交付金申請のあった自治会へ交付を行った。) 中ノ島集会所の浄化槽を修繕、他集会所のエアコンなどの修繕を行った。	住民課	2	3	0	0	0
3. 人権・男女共同参画											
	(1)人権教育、人権啓発の推進	1	人権教育の推進	紀北町人権教育基本方針に基づき、4中学校区ごとの小中連携9年間人権教育カリキュラムに従った校区人権連絡会を行っている。また、各学校の人権教育カリキュラムに従い、校内研修会、人権学習会、公開授業など人権感覚を高めるための取組を行っている。	紀北町人権教育基本方針に基づき、4中学校区ごとの小中連携9年間人権教育カリキュラムに従った校区人権連絡会を行っている。また、各学校の人権教育カリキュラムに従い、校内研修会、人権学習会、公開授業など人権感覚を高めるための取組を行っている。	学校教育課	1	3	1	0	0
		2	人権啓発の推進	人権講演会、街頭啓発を行った。	人権講演会、街頭啓発を行った。	住民課	1	3	1	0	0
	(2)男女共同参画の社会環境づくり	1	男女共同参画についての広報・啓発	広報6月号で『男女共同参画週間』の周知を行った。また、東紀州5市町連携映画祭を令和4年8月21日(日)紀北町で開催し、広域的に啓発活動の取組を行った。	広報6月号で『男女共同参画週間』の周知を行った。また、東紀州5市町連携映画祭を令和5年6月11日(日)紀宝町で開催し、広域的に啓発活動の取組を行った。	総務課	1	3	1	0	0
		2	審議会・委員会への女性委員の登用	女性の法定の審議会等登用率は、令和4年4月1日現在17.8%。多様性を確保するため、より一層の女性参画を進めていくための取組を行っていく。	女性の法定の審議会等登用率は、令和5年4月1日現在17.6%。多様性を確保するため、より一層の女性参画を進めていくための取組を行っていく。	総務課	2	3	0	0	0
		3	特定事業主行動計画に基づく女性活躍の促進	「紀北町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」を策定し取組を進めるとともに、紀北町ホームページで公表をしている。	「紀北町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」を策定し取組を進めるとともに、紀北町ホームページで公表をしている。	総務課	2	3	0	0	0
		4	ワーク・ライフ・バランス等の普及促進	商工観光課にてパンフレット等を用い制度の周知を行っている。	商工観光課にてパンフレット等を用い制度の周知を行っている。	総務課	1	4	0	0	0
		5	DV防止に向けた啓発活動	役場等にてパープルリボン運動の啓発を行っている。	役場等にてパンフレット等を設置しパープルリボン運動の啓発を行っている。	総務課	1	4	0	0	0
	(3)相談体制の充実	1	人権・行政相談の実施	人権行政相談を行った。	人権行政相談を行った。	住民課	1	3	1	0	0
		2	弁護士による無料法律相談の実施	月1回、無料法律相談を行った。	月1回、無料法律相談を行った。	住民課	2	2	1	0	0
		3	DV相談・支援体制の充実	配偶者等からのDV相談を受けた場合、紀北福祉事務所等の関係機関と連携する支援体制をとっている。	配偶者等からのDV相談を受けた場合、紀北福祉事務所等の関係機関と連携する支援体制をとっている。	福祉保健課	1	2	2	0	0
		4	相談窓口等の周知	紀北福祉事務所と合同で年に数回、DV防止啓発活動を実施。	紀北福祉事務所と合同で年に数回、DV防止啓発活動を実施。	福祉保健課	0	3	2	0	0
4. 交流、定住・移住											
	(1)国内外との多様な交流の推進	1	四條畷市との友好都市交流	友好都市交流事業は、各事業ともコロナ禍のため中止となった。特別職交流として、「紀北町・燈籠祭」、「四條畷市：市民の集い」へ隔年で訪問と受入を行っている。	特別職交流として、「紀北町：燈籠祭」、「四條畷市：市民の集い」へ隔年で訪問と受入を行っている。	企画課	0	4	0	1	0

④教育・文化・協働のまち部会				紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表									
施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容		実 施 内 容	主担当課	計画総額 (部会委員5名)					
				令和4年度	令和5年度			A	B	C	D	E	
		2	町外在住の本町出身者との交流・ネットワークづくり	ふれ愛ネット紀北会を通じて、紀北町にゆかりのある町外に在住されている方々と情報の交換を行い、ふれ愛ネット通信また、広報等を送付し情報提供を行っている。(会員数39名) 地域おこし協力隊が取り組む都市とのつながりづくり事業において、オンラインで本町出身者との意見交換ができる仕組「きほくらボ」を運営。32名の会員が加入し、毎月ミーティングを実施している。 紀北町の魅力をSNSで随時発信する「きほくる」を立ち上げ、本町との交流、移住等のきっかけとなる情報発信を実施している。		ふれ愛ネット紀北会を通じて、紀北町にゆかりのある町外に在住されている方々と情報の交換を行い、ふれ愛ネット通信また、広報等を送付し情報提供を行っている。(会員数25名) 紀北町の魅力をSNSで随時発信する「きほくる」を立ち上げ、本町との交流、移住等のきっかけとなる情報発信を実施している。	企画課	0	4	1	0	0	
		3	町内在住の外国人との交流機会の拡大	紀北国際交流協会が主体となり、外国の文化にふれあえる機会や、外国人が日本文化を理解する活動を実施した。		紀北国際交流協会が主体となり、外国の文化にふれあえる機会や、外国人が日本文化を理解する活動を実施した。	企画課	1	2	1	1	0	
		4	国際的視野を持つ人材の育成	(企画課) 紀北国際交流協会への支援を行っている。(コロナ禍で事業が実施できないため補助金支出なし) (学校教育課) 2中学校(赤羽中、三船中)において、台湾交流を実施し、オンラインによる児童生徒の学習文化交流を行っている。		(企画課) 紀北国際交流協会への支援を行っている。 (学校教育課) 2中学校(赤羽中、三船中)において、台湾交流を実施し、オンラインによる児童生徒の学習文化交流を行っている。また、修学旅行を兼ねて中学校を訪問し、その際に姉妹校提携を締結した。	企画課 学校教育課	2	1	1	1	0	
		5	国際交流団体の支援	紀北国際交流協会への支援を行っている。(コロナ禍で事業が実施できないため補助金支出なし)		紀北国際交流協会への補助等支援を行っている。	企画課	0	3	1	1	0	
	(2)定住・移住対策の推進	1	定住・移住に関する総合的な支援体制の構築	定住・移住に関する総合的な相談窓口を、企画課で行っている。		定住・移住に関する総合的な相談窓口を、企画課で行っている。	企画課	2	3	0	0	0	
		2	空き家バンク制度による空き家の有効活用	空き家バンク制度を推進、PRし、空き家の有効活用を図っている。		空き家バンク制度を推進、PRし、空き家の有効活用を図っている。	企画課	3	2	0	0	0	
		3	農林水産業での就業相談、就業体験の実施	(企画課) ・定住・移住窓口として、農林水産業への就業相談は随時受け付けている。		定住・移住窓口として、農林水産業への就業相談は随時受け付けている。	企画課	2	3	0	0	0	
		4	空き家・廃校等を活用した就業体験	空き家・廃校等を活用した就業体験の事例等、情報収集を行った。		空き家・廃校等を活用した就業体験の事例等、情報収集を行った。	企画課	2	1	2	0	0	
		5	お試し住宅の活用	紀北町小松原住宅の一部屋を改築し、移住者希望者が一定期間町内に滞在するために利用できるお試し住宅を整備。(利用実績3件)		紀北町小松原住宅の一部屋を改築し、移住者希望者が一定期間町内に滞在するために利用できるお試し住宅を整備。	企画課	2	3	0	0	0	
		6	地域おこし協力隊・集落支援員などの人材確保	(地域おこし協力隊) 都市部とのつながりづくり担当を採用し、令和2年5月着任(企画課)。 銚子川ブランドアップ担当を採用し、令和2年12月着任(商工観光課)。 紀北町の魅力発見、動画クリエイターを採用し、令和4年9月着任(企画課)。 紀北町移住定住コーディネーターを採用し、令和4年12月着任(企画課)。 (集落支援員) 健康増進に係る元気づくり推進委員30名、平成29年6月着任(福祉保健課) 農村見守り支援員2名、平成29年10月着任(農林水産課) 紀北町新交通システム職員4名、令和2年2月着任(企画課) R5.3時点6名		(地域おこし協力隊) 都市部とのつながりづくり担当を採用し、令和2年5月、令和5年11月着任(企画課)。 銚子川ブランドアップ担当を採用し、令和2年12月着任(商工観光課)。 紀北町の魅力発見、動画クリエイターを採用し、令和4年9月着任(企画課)。 紀北町移住定住コーディネーターを採用し、令和4年12月着任(企画課)。 紀北町海の魅力づくりコーディネーターを採用し、令和5年9月着任(企画課) 紀北町の観光資源を活用した体験事業のブラッシュアップと新たなツアーの造成担当を採用し、令和5年10月着任(商工観光課) (集落支援員) 健康増進に係る元気づくり推進委員28名、平成29年6月着任 介護予防等対策支援員1名、令和5年5月着任(福祉保健課) 農村見守り支援員2名、平成29年10月着任(農林水産課) 紀北町新交通システム職員4名、令和2年2月着任(企画課) R6.3時点6名	企画課	3	2	0	0	0	
		7	二地域居住、ワーケーション誘致対策の検討	紀北町ホームページに企業立地メニューを掲載し、国・県の関連情報、町の取り組みなどを発信し、企業誘致に取り組んでいる。 他市町等の事例について、情報収集を行った。		紀北町ホームページに企業立地メニューを掲載し、国・県の関連情報、町の取り組みなどを発信し、企業誘致に取り組んでいる。 他市町等の事例について、情報収集を行った。	企画課	2	2	1	0	0	
		8	高等教育機関及び当該機関のサテライト等の誘致	三重大学東紀州サテライトにおける産業振興学舎の事業に参加		三重大学東紀州サテライトにおける産業振興学舎の事業に参加	企画課	2	2	1	0	0	
5. 行財政経営													
	(1)行財政改革の推進	1	行革大綱に基づく行政改革の推進	第4次紀北町行財政改革大綱に基づき、第4次紀北町行財政改革大綱アクションプログラム(集中改革プラン)を策定し、大綱の目標として掲げた「住民との協働による持続可能な行政運営の推進」をめざし、行政改革の具体的方策について、目標年度を定め可能な限り数値目標を設定し計画的に推進している。		第4次紀北町行財政改革大綱に基づき、第4次紀北町行財政改革大綱アクションプログラム(集中改革プラン)を策定し、大綱の目標として掲げた「住民との協働による持続可能な行政運営の推進」をめざし、行政改革の具体的方策について、目標年度を定め可能な限り数値目標を設定し計画的に推進している。	総務課	2	3	0	0	0	
		2	指定管理者制度等による民間活力の活用	新たに指定管理を行う施設がないか各担当課において検討を促し、第4次紀北町行財政改革大綱アクションプログラム実施状況の回答にて確認をしている。		新たに指定管理を行う施設がないか各担当課において検討を促し、第4次紀北町行財政改革大綱アクションプログラム実施状況の回答にて確認をしている。	総務課	1	4	0	0	0	
		3	事務事業の見直し	予算編成時に事務事業が抱える本来の目的と効果促進を検証し、住民サービスの低下を招かないように合理化・効率化・簡素化を推進している。		予算編成時に事務事業が抱える本来の目的と効果促進を検証し、住民サービスの低下を招かないように合理化・効率化・簡素化を推進している。	総務課	2	3	0	0	0	

④教育・文化・協働のまち部会

紀北町第2次総合計画後期基本計画「主要施策実施状況表」結果集計表

施策項目	主要施策	事務事業(主な取り組み)		実 施 内 容	実 施 内 容	主担当課	計画結果 (報告委員5名)				
				令和4年度	令和5年度		A	B	C	D	E
		4	新地方公会計制度による財政状況の分析・活用	過年度決算に基づき財務書類を作成し、今後の分析、活用について検討を行うとともに、「統一的な基準による財務書類」として町HPで公表している。	過年度決算に基づき財務書類を作成し、今後の分析、活用について検討を行うとともに、「統一的な基準による財務書類」として町HPで公表している。	財政課	2	3	0	0	0
		5	公共施設の適切な維持管理	紀北町公共施設等総合管理計画(公共施設(建物)個別施設計画)等に位置付けられた方針に基づき、すべての公共施設等について、適正な維持管理に努めている。	紀北町公共施設等総合管理計画(公共施設(建物)個別施設計画)等に位置付けられた方針に基づき、すべての公共施設等について、適正な維持管理に努めている。	財政課	2	2	0	1	0
	(2)職員の能力向上	1	各種研修の充実	新規採用職員研修、安全運転実技研修、接遇研修、人事評価研修などを実施した。また、コロナ禍においてもオンライン会議ツールを活用して、できる限り市町総合事務組合等の研修に参加し、スキルアップを図っている。(普通救命講習はコロナ禍により中止)	新規採用職員研修、安全運転実技研修、生産性向上研修、コンプライアンス研修などを実施した。また、オンラインも活用し、できる限り市町総合事務組合等の研修に参加し、スキルアップを図っている。	総務課	2	3	0	0	0
		2	人事評価制度の円滑な運用	平成28年度から本格運用を実施し、期首に組織目標及び個人目標を定め、期末に評価を行い、人事評価制度を実施している。	平成28年度から本格運用を実施し、期首に組織目標及び個人目標を定め、期末に評価を行い、人事評価制度を実施している。	総務課	1	4	0	0	0
	(3)自主財源の確保	1	使用料・手数料の見直し	(財政課) 当初予算編成時に各使用料・手数料について検討、令和4年度においては現行どおりとした。 (税務課)・令和3年度に同年度以降の督促手数料(40円/件)を廃止。 (住民課) 窓口手続き時や関係通知等の送付時に文書での口座振替の勧奨を行い、納付漏れについてのコストの縮減に取り組んでいる。また保険証の年度切替にあわせ未納者に対して納付相談を行っている。	(財政課) 当初予算編成時に各使用料・手数料について検討、令和5年度においては現行どおりとした。 (住民課) 窓口手続き時や関係通知等の送付時に文書での口座振替の勧奨を行い、納付漏れについてのコストの縮減に取り組んでいる。また保険証の年度切替にあわせ未納者に対して納付相談を行っている。	財政課 税務課 住民課	1	4	0	0	0
		2	収納率の向上	・滞納額を増やさないため、現年度収納に力を入れている。 ・納期を過ぎたものに対し、速やかに督促状、催告状を発送し、自主納付を促している。 ・窓口での納付書利用者に対して、口座振替の案内を行っている。 ・課税方法、納期内納付のお願い、口座振替の案内を行政放送(TV)、広報きほくにより周知。 ・R04(現年)収納率 99.02%	・滞納額を増やさないため、現年度収納に力を入れている。 ・納期を過ぎたものに対し、速やかに督促状、催告状を発送し、自主納付を促している。 ・窓口での納付書利用者に対して、口座振替の案内を行っている。 ・課税方法、納期内納付のお願い、口座振替の案内を行政放送(TV)、広報きほくにより周知 ・地方税統一QRコードの活用による電子納付の導入(固定資産税、軽自動車税(種別割)) ・R05(現年)収納率 99.05%	税務課	4	1	0	0	0
		3	公共施設等の維持管理コストの縮減	公共施設等の維持管理コストの縮減については、紀北町公共施設等総合管理計画(公共施設(建物)個別施設計画)等に位置付けられた方針に基づき、すべての公共施設等について、早期に修繕等を行うことにより維持管理に努め、コスト縮減を図っている。	公共施設等の維持管理コストの縮減については、紀北町公共施設等総合管理計画(公共施設(建物)個別施設計画)等に位置付けられた方針に基づき、すべての公共施設等について、早期に修繕等を行うことにより維持管理に努め、コスト縮減を図っている。	財政課	2	1	2	0	0
		4	滞納防止や滞納整理等の推進	・滞納者には納付相談を行い、分納を求められた場合は納付誓約を取り、計画的な納付を進めている。 ・他市町村へ転出した滞納者については転出先の自治体に対して実態調査を随時行い、回答内容によっては執行停止を行っている。 ・納付のない方においては、町での差押えや三重地方税管理回収機構への移管を行っている。 ・R04差押実施件数 34件	・滞納者には納付相談を行い、分納を求められた場合は納付誓約を取り、計画的な納付を進めている。 ・他市町村へ転出した滞納者については転出先の自治体に対して実態調査を随時行い、回答内容によっては執行停止を行っている。 ・納付のない方においては、町での差押えや三重地方税管理回収機構への移管を行っている。 ・R05差押実施件数 12件	税務課	3	2	0	0	0
		5	町有財産の有効活用	申請等のあった普通財産については、貸付や払下げを行い町有財産の有効活用を行っている。	申請等のあった普通財産については、貸付や払下げを行い町有財産の有効活用を行っている。	財政課	3	2	0	0	0
		6	ふるさと納税制度の活用	地場産品の知名度向上、地域の活性化及び自主財源の確保に努めている。	地場産品の知名度向上、地域の活性化及び自主財源の確保に努めている。	財政課	3	2	0	0	0
		7	国・県の各種補助制度の有効活用	予算編成時に国・県の各種補助制度の活用について十分検討し、一般財源の縮減に努めている。	予算編成時に国・県の各種補助制度の活用について十分検討し、一般財源の縮減に努めている。	財政課	3	2	0	0	0
		8	広告掲載やネーミングライツなどの検討	広報誌やホームページ等町が作成する媒体を有効活用し、民間事業者等の広告を適切に掲載することで自主財源の確保に努めている。	広報誌やホームページ等町が作成する媒体を有効活用し、民間事業者等の広告を適切に掲載することで自主財源の確保に努めている。	財政課	2	3	0	0	0
	(4)広域行政の推進	1	広域連合、一部事務組合等による広域的な事業の実施	紀北広域連合へ課長級1名、東紀州環境施設組合へ係長級1名の職員を派遣し、広域的な事業の充実に努めている。	紀北広域連合へ課長級1名、東紀州環境施設組合へ係長級1名の職員を派遣し、広域的な事業の充実に努めている。三重地方税管理回収機構、主事1名、R4.5	総務課	2	3	0	0	0
		2	様々な分野での連携の検討	令和3年4月1日に東紀州環境施設組合が設立され、東紀州5市町での可燃ごみの処理に向けて検討を重ねている。	令和3年4月1日に東紀州環境施設組合が設立され、東紀州5市町での可燃ごみの処理に向けて検討を重ねている。	総務課	2	3	0	0	0